

平成 21 年度(2009)の事業報告

I. エアロビクの普及・振興に関する事業

1. 生涯エアロビク事業の推進

(1) 「第 22 回全国スポーツ・レクリエーション祭エアロビク大会」の開催

- ・生涯スポーツの祭典全国スポレク祭 2009 は宮崎県下で開催され、エアロビク大会は宮崎市のフェニックス・シーガイア・リゾート サンホテル国際会議場で 12 回目を開催した。
また、日韓スポーツ交流事業として韓国からの参加もあった。なお、大会の様子は NHK BS-2 の番組として放送された。

【期 間】 10 月 17 日(土)～19 日(月)の 3 日間

【会 場】 宮崎市 フェニックス・シーガイア・リゾート サンホテル国際会議場

【参加者】 35 都道府県及び韓国を含む総勢 46 チーム 252 名
(うち韓国は 3 チーム 15 名)

【放 送】 NHK BS-2 11 月 8 日(日)16:00～16:53

(2) 「エアロビク技能検定会」の開催

- ・日頃の教室やレッスンにおいて技術向上の目安やモチベーションを目的としたエアロビク技能検定会は、都道府県連盟および関係団体と協力して年間を通して実施した。
- ・なお、技能検定会の醸成をはかるため、会員誌スマイルで継続して合格者名を掲載していくこととした。

①平成 22 年度エアロビク検定実績(人)

級	受検者	合格者	登録者
10	26	25	24
9	69	68	67
8	190	162	121
7	301	254	212
6	379	317	315
5	336	203	203
4	234	149	149
3	85	35	35
2	31	18	18
1	22	13	13
合 計	1,673	1,244	1,157

②平成 22 年度ジュニア検定実績(人)

級	受検者	合格者	登録者
5	801	792	792
4	685	558	558
3	536	379	363
2	293	99	99
1	113	46	46
合計	2,428	1,874	1,858

③通算受検者数 27,709 人

④通算登録者数 19,097 人

(3)「アダプテッドエアロビック」の普及および協力

①「第11回アダプテッドエアロビック・ナショナルフェスタよこはま2010」の共催

- ・障害者と健常者が一緒になってエアロビックを楽しむ「アダプテッドエアロビック・ナショナルフェスタよこはま2010」を神奈川県エアロビック連盟と共催で行った。

【主催】	神奈川県エアロビック連盟(共催)
【期 日】	2月11日(祝)、シンポジウム 3月7日(日)、エアロビック大会
【会 場】	横浜ラポール
【参加者】	シンポジウム 26 名、エアロビック大会 39 チーム 397 名

②(財)ナイスハート基金の催事協力と指導者派遣

- ・ナイスハート基金が主催する障害者と健常者がスポーツを通じて交流する「ふれあいのスポーツ広場」への協力と指導者派遣を次の通り行った。

群馬大会	5月30日(土)	太田市新田総合体育館・エアリス	参加者 403 名
福岡大会	6月9日(火)	福岡市民体育館	参加者 180 名
栃木大会	6月13日(土)	鹿沼市総合体育館フォレストアリーナ	参加者 443 名
北海道大会	6月23日(火)	函館市総合福祉センター多目的ホール	参加者 280 名
神奈川大会	6月27日(土)	秦野市総合体育館	参加者 467 名
岡山大会	7月11日(土)	倉敷市水島緑地福田公園体育館	参加者 788 名
愛知大会	10月24日(土)	名古屋市稲永スポーツセンター	参加者 357 名
兵庫大会	11月4日(水)	姫路市中央体育館	順延
埼玉大会	11月7日(土)	川越運動公園総合体育館	参加者 927 名
青森大会	11月9日(月)	新青森総合運動公園青い森アリーナ	参加者 297 名
静岡大会	11月14日(土)	裾野市民体育館	順延
沖縄大会	2月17日(水)	うるま市具志川総合体育館	参加者 366 名

(4)「きらきら Kids マナーエアロビック・第2回全国ビデオコンクール」の開催

- ・子どものココロとカラダの支援活動として、凸版印刷(株)の支援を得て「きらきら kids マナーエアロビック・第2回全国ビデオコンクール」を開催した。

【後 援】	文部科学省、(財)日本体育協会 他
【期 間】	7月～10月
【応募数】	66 チーム(参加者 2,678 名)
【表 彰】	グランプリ(最優秀賞)3 部門 3 チーム、優秀賞 3 部門 3 チーム、 入選 3 部門 12 チームを表彰

(5)糖尿病の運動療法を楽しく行う啓発イベントの協力

- ・日本イーライリリー社の社会貢献活動である糖尿病の運動療法を楽しく行う啓発イベントを下記の6会場で協力して行った。

横浜会場	10月4日	横浜ラポール メインアリーナ	参加者 300 名
埼玉会場	10月12日	与野体育館	参加者 120 名
福岡会場	11月15日	パピヨン 21 ガスホール	参加者 110 名
仙台会場	11月23日	サンフェスタ レセプションホール	参加者 110 名
大阪会場	12月13日	尼崎市記念公園総合体育館	参加者 100 名
名古屋会場	12月20日	愛知学院大学歯学部体育館	参加者 110 名

(6)フェスティバル・地域催事後援、指導者派遣等

- ・都道府県連盟および関係団体等が主催するフェスティバル、各種イベントへの後援名義ならびに

講師の派遣を行った。

【名義後援】	都道府県連盟、設立準備委員会、関係団体等	17 件
【指導者派遣】	都道府県連盟イベント、NHK イベント等	6 件

2. 競技エアロビック事業の推進

(1) 「スズキワールドカップ 2009・第 20 回世界エアロビック選手権大会」の開催

- ・世界の競技エアロビックの頂点を競うスズキワールドカップは 20 回目の記念大会を迎え、国際エアロビック連盟 (IAF) と共催して開催した。

【期 日】	予選 4 月 18 日 (土)、決勝 4 月 19 日 (日)
【会 場】	東京体育館 メインアリーナ
【参 加】	19 ヶ国、138 名
【放 送】	NHK BS-1 4 月 25 日 (土) 16:10～17:00

(2) 「スズキジャパンカップ 2009・第 26 回全日本エアロビック選手権大会」の開催

- ・国内の競技エアロビックの頂点を競うスズキジャパンカップ・全日本エアロビック選手権大会は第 26 回大会を迎え、次の通り都道府県大会、地区大会、全国大会を開催した。

<都道府県大会>

- ・4 月～7 月の期間に全国都道府県等において各都道府県大会を実施した。

<地区大会>

東北地区大会	9 月 20 日 (日)	仙台市泉運動場総合体育館	出場者 100 名
北海道地区大会	9 月 22 日 (祝)	きたえ〜るメインアリーナ	出場者 78 名
中部地区大会	9 月 26 日 (土)	中村スポーツセンター	出場者 174 名
西日本地区大会	10 月 10 日 (土)	なみはやドームサブアリーナ	出場者 217 名
九州地区大会	10 月 17 日 (土)	九電記念体育館	出場者 138 名
東日本地区大会	10 月 31 日 (土)	東京体育館	出場者 214 名

<全国大会>

【期 日】	11 月 1 日 (日)
【会 場】	東京体育館
【出場者】	188 名 地区代表者数 167 名、前年度上位入賞シード 15 名、 ジャパンサーキットツアー男女トップ 3 シード 6 名
【放 送】	NHK 総合 TV 11 月 7 日 (土) 15:50～16:40

(3) 「JOC ジュニアオリンピックカップ・全国エアロビック選手権大会 in 袋井 2010」の開催

- ・ユースの頂点を競う「JOC ジュニアオリンピックカップ全国エアロビック選手権大会」は、静岡県袋井市と共催して第 5 回大会を開催した。
- ・本大会は総務省・文部科学省の「スポーツ拠点づくり推進事業」として開催していることから 6 回大会以降の運営等について、検討をすすめた。

<予選大会>

- ①シングル、トリオ部門の予選を「スポーツエアロビック 2009」において行った。
 - ②チーム部門の予選を「SUZUKI PRESENTS JOC ジュニアオリンピックカップ・チーム部門予選」として、静岡エアロビック連盟の主管で行った。
- | | |
|-------|---------------|
| 【主 管】 | 静岡県エアロビック連盟 |
| 【期 日】 | 12 月 26 日 (土) |
| 【会 場】 | 浜松市アクトシティ中ホール |
| 【参加者】 | 41 チーム、297 名 |

<全国大会>

【期 日】 1月23日(土)
【会 場】 静岡スタジアム、エコパアリーナ
【参加者】 317名

(4)「第9回全日本学生エアロビック選手権大会」の開催

- ・学生エアロビックの祭典として、学生エアロビック選手権大会実行委員会と共催して第9回大会を開催した。
- ・なお、本年度から高校の部を新設して、選手育成と競技会の拡大を図った。

【期 日】 11月29日(日)
【会 場】 日本工学院八王子専門学校 体育館(東京都八王子市)
【参加者】 大学(大学院)、短大、専門学校：27校、174名 高校：14校、22名

(5)「第5回全国フライト選手権大会」の開催

- ・「スポーツエアロビック 2009」と全日本学生選手権大会のフライト部門上位者による第5回全国フライト選手権大会を開催した。

【期 日】 12月13日(日)
【会 場】 尼崎市記念公園総合体育館
【参加者】 286名

(6)「スポーツエアロビック 2009」の開催

- ・エアロビックの総合的な大会として「スポーツエアロビック 2009」を全国7地区で開催した。また、各種全国大会の予選会も兼ねて行った。

第1戦：宮城オープン	5月3日(祝)	泉総合運動場体育館	参加者	298名
第2戦：北海道オープン	7月4日(土)	北翔大学第1体育館	参加者	372名
第3戦：静岡オープン	7月11日(土)	エコパアリーナ	参加者	430名
第4戦：神奈川オープン	9月5日(土)	横浜文化体育館	参加者	620名
第5戦：鳥取オープン	9月12日(土)	三朝町総合スポーツセンター	参加者	279名
第6戦：福岡オープン	11月14日(土)	九電記念体育館	参加者	393名
第7戦：兵庫オープン	12月12日(土)	尼崎市記念公園総合体育館	参加者	446名

【全国大会予選】

- ①JOCジュニアオリンピックカップ、シングル・トリオ部門予選
- ②全国フライト・エアロビック選手権大会予選
- ③全国フライト・エアロビック選手権大会予選

【チームチャレンジ】

- ・北海道オープンでは、生涯エアロビック普及の観点からチームチャレンジを実施、13チーム、117名が参加。

(7)「メトロポリタンカップ 2009」の開催

- ・首都圏のエアロビック普及を目的に「メトロポリタンカップ 2009」を開催した。なお、本年度より2日間の開催となった。

【期 日】 7月19日(日)、20日(祝)
【会 場】 東京体育館サブアリーナ
【参加者】 583名

II. エアロビクの国際競技大会等に対する代表参加者の選定・派遣並びに外国からの役員等招聘

1. FIG ワールドシリーズ大会等への選手・審判員の派遣

- ・国際体操連盟(FIG)が主催する次のワールドシリーズ大会に選手・審判の派遣を行った。
 - ①5月：ブルガリア(ソフィア)
 - ②5月：フランス(シャンベリー)
 - ③10月：ルーマニア(ティミソアラ)

2. 第8回ワールドゲームズ2009への選手・審判の派遣

- ・台湾高雄市で開催された第8回ワールドゲームズ2009に選手・審判の派遣を行った。
【期間】7月16日～26日(11日間)

III. エアロビクの講習会の開催及び指導者の育成

1. 公認エアロビク指導者養成事業の推進

(1) 公認スポーツ指導者に関する養成講習会の開催

- ・(財)日本体育協会と共催して行う公認スポーツ指導員(専門科目)養成講習会を次の通り開催した。

東京会場	前期	7月11日(土)～	7月12日(日)	江戸川区総合体育館	受講者 25 名
	後期	8月22日(土)～	8月23日(日)		
栃木会場	前期	9月22日(土)～	9月23日(日)	鹿沼総合体育館	受講者 17 名
	後期	11月22日(土)～	11月23日(日)		

(2) 専門科目の検定試験等の実施

- ・公認エアロビク指導員の検定試験を次の通り行った。

■承認校における公認エアロビク指導員・教師専門科目(検定試験)

北海道会場	1月20日(水)	専門学校北海道体育大学校	受検者 16 名
岩手会場	2月6日(土)	盛岡大学短期大学部	受検者 12 名
富山会場※		富山健康科学専門学校	受検者 1 名
大阪会場※		大阪社会体育専門学校	受検者 1 名
東京会場	2月13日(土)	東京スポーツ・レクリエーション専門学校	受検者 9 名
愛知会場※		中京女子大学短期大学部	受検者 3 名

(※はビデオ審査による検定)

2. JAF 認定エアロビク指導者養成事業の推進

(1) 「JAF National Camp 2010」の開催

- ・指導者養成に関する各種講習会・研修会を集中的に行う「JAF National Camp 2010」を開催した。
昨年に引き続き、(財)日本体育協会の助成を受けて、指導専門委員を対象に「公認スポーツ指導者競技別講師全国研修会」を兼ねて行った。

【期 間】	2月23日(月)～28日(日)		
【会 場】	国立オリンピック記念青少年総合センター		
【内 容】	2月26日～27日	指導専門委員中央研修会	受講者 37 名
	2月23日	TA 中央研修会(プログラム A)	受講者 65 名
	2月24日	TA 中央研修会(プログラム B)	受講者 94 名

2月27日～28日	TA新規養成講習会	受講者 23 名
2月28日	審判員中央研修会	受講者 72 名
2月25日～27日	審判員新規養成講習会	受講者 32 名
2月23日	技能検定員中央研修会	受講者 43 名
2月23日	ジュニア技能検定員中央研修会	受講者 27 名
2月26日	ジュニア技能検定員新規養成講習会	受講者 5 名
2月24日～25日	技能検定員移行講習会	受講者 14 名
2月24日～26日	技能検定員新規養成講習会	受講者 7 名
2月28日	JAF エアロビックスセミナー	受講者 27 名

(2) 「C級審判員養成講習会」の開催

山形会場	5月29日(金)～31日(日)	山形県スポーツ会館	受講者 15 名
------	-----------------	-----------	----------

(3) 「キッズ・ジュニアエアロビックス指導員養成講習会」の開催

東京会場	6月20日(土)～6月21日(日)	有明スポーツセンター	受講者 20 名
東京会場	9月16日(水)～17日(木)	日本工学院八王子専門学校	受講者 34 名
山梨会場	9月26日(土)～9月27日(日)	山梨学院短期大学	受講生 23 名

(4) 「テクニカル・アドバイザー (TA) 養成講習会」の開催

大阪会場	8月22日(土)～23日(日)	大阪国際大学	受講者 10 名
------	-----------------	--------	----------

(5) 「アクアエアロビックス指導員 (Ⅱ種) 養成講習会」の開催

東京会場	9月2日(水)～3日(木)	日本工学院八王子専門学校	受講者 40 名
山梨会場	10月3日(土)～4日(日)	山梨学院短期大学	受講者 21 名

(6) 「ジュニア・エアロビックス技能検定員養成講習会」の開催

鹿児島会場	11月22日(日)	南学園鹿児島医療福祉専門学校	受講者 12 名
-------	-----------	----------------	----------

3. 指導者資格更新に関するセミナーの推進

(1) 「JAF エアロビックスセミナー」の開催

・JAF 認定ならびに公認指導者の資格更新を兼ねて行う、JAF エアロビックスセミナーを開催した。

東京会場	7月11日(土)	江戸川区総合体育館	受講生 20 名
富山会場	7月19日(日)	富山健康科学専門学校	受講生 18 名
東京会場	11月23日(月)	清島温水プール	受講生 10 名
静岡会場	12月5日(土)	袋井市山名公民館	受講生 27 名
福島会場※	12月12日(土)	いわき市立学習プラザ	受講生 15 名
東京会場	2月28日(土)	代々木オリンピックセンター	受講生 27 名
秋田会場※	3月14日(土)	秋田県立総合プール	受講生 5 名
長野会場※	3月21日(土)	スポーツネットワークサム	受講生 25 名
北海道会場※	3月22日(日)	札幌中島体育センター	受講生 12 名

(※は県連盟が主管して実施)

(2) 「審判員資格更新セミナー」の開催

大阪会場	4月4日(土)	大阪国際大学	受講者 16 名
------	---------	--------	----------

(3) 「新ルール説明会」の開催

大阪会場	4月4日(土)	大阪国際大学	受講者 46 名
------	---------	--------	----------

IV. 競技力向上に関する事業の推進

1. 「スーパーキャンプ」の開催

- ・競技力の底辺拡大と強化を目的とした競技エアロビックの「スーパーキャンプ」を全国4地区で開催した。本年度より、競技間交流として(財)日本体操協会に講師派遣を依頼して行った。

大阪会場	11月22日(土)	土佐堀Y M C A	参加者 105名
東京会場	2月23日(火)～28日(月)	国立オリンピックセンター	参加者 165名
仙台会場	3月26日(金)～27日(土)	仙台市泉総合運動場体育館	参加者 111名
福岡会場	3月13日(土)～14日(日)	福岡大学	受講者 133名

2. 「チームジャパン合宿」の開催

- ・スズキワールドカップ2010の出場選手が参加して「チームジャパン合宿」を行った。

【期 間】	2月19日(金)～22日(月)
【会 場】	国立オリンピック記念青少年総合センター
【参加者】	24名(一般11名、ユース13名、コーチ2名)

V. エアロビックの審判員の養成及びその資格の認定

1. 国際審判員養成講習会の開催

- ・国際体操連盟(FIG)の国際審判員養成講習会を行った。

【期 間】	6月22日(月)～26日(金)
【会 場】	NHK 青山荘(東京)
【受講者】	29名

VI. 各種関連団体との協調と連携

1. 競技力向上に関する研究(継続研究)

- ・サマーキャンプ、チームジャパン合宿等を通じて選手強化に関する研究をすすめた。

2. 生涯エアロビックに関する研究(継続研究)

- ・キッズジュニア指導員養成講習会・研修会等を通じて指導法に関する継続的に研究をすすめた。

3. アダプテッド・エアロビックに関する研究(継続研究)

- ・神奈川県エアロビック連盟の事業委託、ナイスハート基金「ふれあいスポーツ広場」への指導者派遣等を通じて継続的な研究をすすめた。

4. エアロビック・フィットネス協議会(AFC)との連携

- ・エアロビック・フィットネス界の発展を目的として2000年に設立。
2009年度も(社)日本フィットネス協会、アフア・ジャパンの主要団体と協力連携して次の事業を行った。

- ①機関紙「AFC PRESS」の年4回の発行と編集協力
- ②AFC設立10周年記念企画として「感動ストーリー」を募集

VII. 広報活動の推進

1. NHK 定時番組等の制作協力

①定時番組「BS エアロビック」の制作協力

- ・1998 年にスタートした NHKBS-2 の定時番組「BS エアロビック」の制作協力を本年も継続して行った。

【出演者】 吉田知子・本間友暁・田中小夜子

【放 送】 NHK BS-2 4 月より月曜日～木曜日 午前 9：50～10：00（10 分帯番組）

②定時番組「ドゥ！エアロビック」の制作協力

- ・2003 年 10 月にスタートした全国各地の街や職場を紹介し、参加者と一緒にエアロビックを楽しむ公開収録による NHKBS-2 の定時番組「ドゥ！エアロビック」の制作協力を行った。

【放 送】 毎週日曜日、NHK BS-2 午前 6：30～6：54（24 分番組）

【内 容】 全国各地を訪問する公開収録形式

【出演者】 知念かおる他

2. JAF 会員誌『スマイル』の発行

- ・本連盟会員のための情報誌として 1998 年 7 月に創刊。本年も年 4 回発行した。

44 号	4 月 1 日発行	各 5,000 部発行
45 号	7 月 1 日発行	
46 号	10 月 1 日発行	
47 号	1 月 1 日発行	

VIII. その他法人の目的を達成するために必要な事業

1. 都道府県連盟の加盟状況

- ・2009 年度の都道府県連盟の加盟数は、次の通りとなった。

【正加盟】 27 都府県

【準加盟】 8 県

【設立準備委員会】 5 県 新潟、愛媛、大分、鹿児島、沖縄

※未組織は 7 府県(京都、奈良、和歌山、徳島、高知、島根、佐賀)

2. 賛助会員（法人・個人・サークル）の推進

- ・2009 年度末の、法人賛助会員、個人賛助会員の実績は、次の通りとなった。

【法人賛助会員】 66 社 (企業関係 57、学校関係 9)

【個人賛助会員】 1,789 人

3. 選手登録の推進

- ・2009 年度末の選手登録実績は、次の通りとなった。

【選手登録数】 2,965 人

4. 競技登録クラブの推進

- ・2009 年度末の「JAF 競技登録クラブ」の登録数は、次の通りとなった。

【競技登録クラブ】 41 クラブ

以上

平成21年度 決算報告書

平成21年 4月 1日から
平成22年 3月 31日まで

1. 財務諸表

- ① 貸借対照表
- ② 正味財産増減計算書
- ③ 財産目録

2. 収支計算書

- ① 収支計算書

社団法人日本エアロビック連盟

貸 借 対 照 表
平成 22年 3月 31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	116,505,443	109,973,033	6,532,410
売掛金	200,200	694,850	- 494,650
商品	989,250	2,934,254	- 1,945,004
貯蔵品	2,181,494	-	2,181,494
立替金	-	66,392	- 66,392
未収入金	2,766,235	2,216,500	549,735
仮払金	-	100,000	- 100,000
前払費用	2,564,779	1,739,577	825,202
流動資産合計	125,207,401	117,724,606	7,482,795
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	20,000,000	20,000,000	-
基本財産合計	20,000,000	20,000,000	-
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	3,614,240	4,801,221	- 1,186,981
大会運営積立資産	50,000,000	-	50,000,000
特定資産合計	53,614,240	4,801,221	48,813,019
(3) その他固定資産			
建物附属設備	8,974	13,459	- 4,485
什器備品	1,363,248	1,422,624	- 59,376
電話加入権	291,200	291,200	-
ソフトウェア	2,561,148	3,542,868	- 981,720
出資金	-	100,000	- 100,000
保証金	2,667,600	7,209,900	- 4,542,300
長期前払費用	711,978	2,224,710	- 1,512,732
その他固定資産合計	7,604,148	14,804,761	- 7,200,613
固定資産合計	81,218,388	39,605,982	41,612,406
資産合計	206,425,789	157,330,588	49,095,201
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	5,669,306	6,240,475	- 571,169
未払費用	2,836,219	4,225,884	- 1,389,665
前受金	4,861,229	3,895,318	965,911
仮受金	-	5,500	- 5,500
預り金	9,659,733	3,132,985	6,526,748
未払法人税等	70,000	70,000	-
未払消費税等	3,337,700	2,336,000	1,001,700
流動負債合計	26,434,187	19,906,162	6,528,025
2. 固定負債			
退職給付引当金	3,614,240	2,509,674	1,104,566
固定負債合計	3,614,240	2,509,674	1,104,566
負債合計	30,048,427	22,415,836	7,632,591
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	20,000,000	20,000,000	-
指定正味財産合計	20,000,000	20,000,000	-
(うち基本財産への充当額)	(20,000,000)	(20,000,000)	(-)
2. 一般正味財産	156,377,362	114,914,752	41,462,610
(うち特定資産への充当額)	(50,000,000)	(4,801,221)	(45,198,779)
正味財産合計	176,377,362	134,914,752	41,462,610
負債及び正味財産合計	206,425,789	157,330,588	49,095,201

正味財産増減計算書

平成 21年 4月 1日から平成 22年 3月 31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	30,820	70,136	- 39,316
基本財産受取利息	30,820	70,136	- 39,316
② 特定資産運用益	10,949	-	10,949
特定資産受取利息	10,949	-	10,949
③ 受取会費	19,103,751	10,978,904	8,124,847
正会員受取会費	2,500,000	50,000	2,450,000
賛助会員受取会費	13,095,200	8,748,000	4,347,200
登録クラブ受取会費	2,460,000	2,100,001	359,999
国際加盟費受取会費	1,048,551	80,903	967,648
④ 事業収益	256,254,906	304,875,557	- 48,620,651
競技会事業収益	188,506,425	233,792,989	- 45,286,564
認定登録事業収益	10,623,585	13,696,153	- 3,072,568
講習会等事業収益	52,543,048	49,683,764	2,859,284
商品売上事業収益	4,581,848	5,107,051	- 525,203
賃貸事業収益	-	2,595,600	- 2,595,600
⑤ 受取補助金等	4,538,295	3,597,900	940,395
受取民間助成金	4,538,295	3,597,900	940,395
⑥ 雑収益	1,777,259	3,238,204	- 1,460,945
受取利息	57,673	89,453	- 31,780
受取配当金	6,000	-	6,000
雑収益	1,713,586	3,148,751	- 1,435,165
経常収益計	281,715,980	322,760,701	- 41,044,721
(2) 経常費用			
① 事業費			
期首商品棚卸高	2,934,254	1,843,427	1,090,827
商品仕入高	925,221	2,909,514	- 1,984,293
期末商品棚卸高	- 2,012,290	- 2,934,254	921,964
普及 指導	16,979,394	19,784,709	- 2,805,315
競技会	91,214,079	141,517,933	- 50,303,854
講習会 指導者育成	10,121,080	5,550,798	4,570,282
給料手当	50,706,712	-	50,706,712
退職給付費用	735,068	-	735,068
法定福利費	7,276,863	-	7,276,863
福利厚生費	141,248	-	141,248
広告宣伝費	2,209,762	-	2,209,762
接待交際費	325,140	-	325,140
会議費	34,313	-	34,313
旅費交通費	2,183,284	-	2,183,284
出張手当	57,625	-	57,625
通信運搬費	2,466,240	-	2,466,240
消耗品費	1,626,405	-	1,626,405
修繕費	1,411,476	-	1,411,476
賃借料	664,357	-	664,357
事務所賃借料	5,853,521	-	5,853,521
保険料	243,404	-	243,404
租税公課	2,000	-	2,000
雑費	4,299,283	-	4,299,283
事業費計	200,398,439	168,672,127	31,726,312

正味財産増減計算書

平成 21年 4月 1日から平成 22年 3月 31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
② 管理費			
給料手当	16,800,000	54,764,031	- 37,964,031
退職給付費用	1,400,000	187,500	1,212,500
法定福利費	1,965,810	7,497,501	- 5,531,691
福利厚生費	88,456	159,835	- 71,379
接待交際費	376,118	982,180	- 606,062
会議費	129,658	400,871	- 271,213
旅費交通費	1,126,323	3,598,472	- 2,472,149
出張手当	91,027	243,076	- 152,049
通信運搬費	552,221	3,974,824	- 3,422,603
減価償却費	3,214,517	4,611,635	- 1,397,118
消耗品費	527,579	1,052,389	- 524,810
修繕費	325,725	47,000	278,725
賃借料	297,556	1,153,600	- 856,044
事務所賃借料	1,346,118	11,911,703	- 10,565,585
保険料	40,700	547,523	- 506,823
租税公課	583,113	29,300	553,813
雑費	9,860,335	14,017,309	- 4,156,974
管理費計	38,725,256	105,178,749	- 66,453,493
経常費用計	239,123,695	273,850,876	- 34,727,181
当期経常増減額	42,592,285	48,909,825	- 6,317,540
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 退職給付引当金戻入	-	187,500	- 187,500
経常外収益計	-	187,500	- 187,500
(2) 経常外費用			
① 退職給付引当金繰入	-	1,834,847	- 1,834,847
② 雑損失	-	591	- 591
③ 什器備品除却損	36,635	-	36,635
④ 棚卸商品減耗損	1,023,040	-	1,023,040
経常外費用計	1,059,675	1,835,438	- 775,763
当期経常外増減額	- 1,059,675	- 1,647,938	588,263
税引前当期一般正味財産増減額	41,532,610	47,261,887	- 5,729,277
法人税等	70,000	70,000	-
当期一般正味財産増減額	41,462,610	47,191,887	- 5,729,277
一般正味財産期首残高	114,914,752	67,722,865	47,191,887
一般正味財産期末残高	156,377,362	114,914,752	41,462,610
II 指定正味財産増減の部			
① 基本財産運用収入	-	70,136	- 70,136
② 一般正味財産への振替額	-	- 70,136	70,136
当期指定正味財産増減額	-	-	-
指定正味財産期首残高	20,000,000	20,000,000	-
指定正味財産期末残高	20,000,000	20,000,000	-
III 正味財産期末残高	176,377,362	134,914,752	41,462,610

財 産 目 録
平成 22年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目		金 額	
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現 金 預 金			
現 金	現金手許有高	598,595	
普 通 預 金	みずほ銀行 祐天寺支店	110,985,801	
	川崎信用金庫 宮前平支店	433,533	
	三菱東京UFJ銀行 大井支店	2,238,826	
郵 便 振 替	ゆうちょ銀行 品川支店	206,833	
定 期 預 金	川崎信用金庫 宮前平支店	2,041,855	
売 掛 金	25周年書籍他	200,200	
商 品	ｷﾃﾞｲﾅｯﾌﾟ@1,646*196枚 技能検定曲CD@2,205*101枚 JAFエンブレム@6,300*28枚 25周年書籍@1,575*42冊 ｽﾎｰﾌﾞｴｱﾛﾋﾞｯｸﾌﾞ指定曲集@770*66枚 技ｼﾞｬｯﾌﾟ1,266*31枚 きらきら書籍@1,109*34冊 きらきらDVD&CD@1,889*22枚 わくわくCD@486*15枚 わくわくDVD@911*2本 競技ﾚｰﾃｲﾝ採点事例ｼｰﾄ@600*50枚 審判員試験問題集683*3冊	989,250	
貯 蔵 品	切手類67,098 教材関係2,114,396	2,181,494	
未 収 入 金	21年度公認ｽﾎｰﾌﾞ指導員・教師登録料他	2,766,235	
前 払 費 用	平成22年度諸経費	2,564,779	
	流 動 資 産 合 計		125,207,401
2. 固定資産			
(1)基本財産			
定 期 預 金	三菱東京UFJ銀行 大井支店	20,000,000	
	基 本 財 産 合 計	20,000,000	
(2)特定資産			
退職給付引当資産	定期預金 川崎信用金庫 宮前平支店	358,145	
	三菱東京UFJ銀行 大井支店	1,200,000	
	定期積金 みずほ銀行 祐天寺支店	2,056,095	
大会運営特定資産	定期預金 三菱東京UFJ銀行 大井支店	30,000,000	
	みずほ銀行 祐天寺支店	20,000,000	
	特 定 資 産 合 計	53,614,240	
(3)その他の固定資産			
建 物 付 属 設 備	可動間仕切り エフエム総研 4,151 可動間仕切り (髙)ﾊﾞﾝﾅｯｸ 4,823	8,974	
什 器 備 品	エアロビックﾌﾟﾛﾌ H11年度 94,003 エアロビックﾌﾟﾛﾌ H12年度 119,603 エアロビックﾌﾟﾛﾌ H16年度 360,001 ﾊﾞｼﾞｮﾝ 504,452、ﾊﾞｼﾞｮﾝｻｰﾊﾞｰ 139,167 ﾙｰﾀｰ 96,688、ﾌﾟﾘﾝﾀｰ 49,334	1,363,248	
電 話 加 入 権	03-5796-7521他	291,200	
ソ フ ト ウ ェ ア	会員管理ｼｽﾃﾑ 1,092,500、会計ｼﾌﾄ 27,814 集計ｼｽﾃﾑ 1,057,500、選手登録ｼｽﾃﾑ 383,334	2,561,148	
保 証 金	市川庄次 2,667,600	2,667,600	
長 期 前 払 費 用	競技採点規則 570,282 検定ﾊﾞｯｼﾞ 56,043、Jr検定ﾊﾞｯｼﾞ 37,807 検定会ｼｽﾃﾑﾊﾝﾄﾞﾌﾞｯｸ 37,846 日本体操協会入会金 10,000	711,978	
	その他の固定資産合計	7,604,148	
	固 定 資 産 合 計		81,218,388
	資 産 合 計		206,425,789
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未 払 金	事業関係経費他	5,669,306	
未 払 費 用	従業員給与・社会保険他	2,836,219	
前 受 金	22年度協賛金他	4,861,229	
預 り 金	FIGﾌﾗﾝｽ大会Air代、源泉所得税他	9,659,733	
未 払 法 人 税 等		70,000	
未 払 消 費 税 等		3,337,700	
	流 動 負 債 合 計		26,434,187
2. 固定負債			
退職給付引当金		3,614,240	
	固 定 負 債 合 計		3,614,240
	負 債 合 計		30,048,427
	正 味 財 産		176,377,362

収 支 計 算 書

自 平成 21年 4月 1日 至 平成 22年 3月 31日

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 基本財産運用収入	40,000	30,820	9,180	
基本財産利息収入	40,000	30,820	9,180	
② 特定資産運用収入	-	10,949	- 10,949	
特定資産利息収入	-	10,949	- 10,949	
③ 会費収入	21,820,000	19,103,751	2,716,249	
正会員会費収入	3,250,000	2,500,000	750,000	
賛助会員会費収入	14,390,000	13,095,200	1,294,800	個人賛助会員増
登録ｸﾗﾌ会費収入	2,280,000	2,460,000	- 180,000	
国際加盟費収入	1,900,000	1,048,551	851,449	
④ 事業収入	237,382,000	256,254,906	- 18,872,906	
競技会収入	179,628,000	188,506,425	- 8,878,425	協賛金収入増
認定・登録料収入	13,204,000	10,623,585	2,580,415	選手登録料の徴収廃止
講習会等収入	40,050,000	52,543,048	- 12,493,048	NC、FIG等講習会収入増
商品売上収入	4,500,000	4,581,848	- 81,848	
⑤ 補助金等収入	7,305,000	4,538,295	2,766,705	
民間助成金収入	7,305,000	4,538,295	2,766,705	文部科学省委託事業減
⑥ 雑収入	1,055,000	1,777,259	- 722,259	
受取利息	55,000	57,673	- 2,673	
受取配当金	-	6,000	- 6,000	
雑収入	1,000,000	1,713,586	- 713,586	
事業活動収入計	267,602,000	281,715,980	- 14,113,980	
2. 事業活動支出				
① 事業費支出	210,798,000	201,939,983	8,858,017	
商品仕入高支出	2,000,000	925,221	1,074,779	制作物の減
普及・指導支出	17,265,000	17,981,866	- 716,866	
競技会支出	98,176,000	91,214,079	6,961,921	大会制作費減
講習会・指導者育成支出	6,876,000	10,357,304	- 3,481,304	FIG講習会費用増
給料手当支出	53,512,000	50,706,712	2,805,288	職員退職に伴う減
退職給付費用支出	960,000	1,030,502	- 70,502	
法定福利費支出	8,737,000	7,276,863	1,460,137	職員退職に伴う減
福利厚生費支出	225,000	141,248	83,752	
広告宣伝費支出	-	2,209,762	- 2,209,762	ホームページの全面改定
接待交際費支出	592,000	325,140	266,860	
会議費支出	417,000	34,313	382,687	
旅費交通費支出	2,780,000	2,183,284	596,716	
出張手当支出	196,000	57,625	138,375	
通信運搬費支出	3,832,000	2,493,110	1,338,890	運搬方法見直しによる減
消耗品費支出	1,489,000	2,502,105	- 1,013,105	
修繕費支出	833,000	1,411,476	- 578,476	
賃借料支出	750,000	664,357	85,643	
事務所賃借料支出	7,058,000	5,853,521	1,204,479	事務所移転に伴う減
保険料支出	125,000	243,404	- 118,404	
租税公課支出	28,000	2,000	26,000	
雑費支出	4,947,000	4,326,091	620,909	
② 管理費支出	31,756,000	34,124,159	- 2,368,159	
給料手当支出	16,800,000	16,800,000	-	
法定福利費支出	1,959,000	1,965,810	- 6,810	
福利厚生費支出	45,000	88,456	- 43,456	
接待交際費支出	118,000	376,118	- 258,118	
会議費支出	83,000	129,658	- 46,658	
旅費交通費支出	1,179,000	1,126,323	52,677	
出張手当支出	39,000	91,027	- 52,027	
通信運搬費支出	766,000	558,939	207,061	
消耗品費支出	298,000	527,579	- 229,579	
修繕費支出	167,000	325,725	- 158,725	
賃借料支出	150,000	297,556	- 147,556	
事務所賃借料支出	1,412,000	1,346,118	65,882	
保険料支出	25,000	40,700	- 15,700	
租税公課支出	6,000	583,113	- 577,113	
雑費支出	8,709,000	9,867,037	- 1,158,037	事務所移転に伴う増
③ その他事業活動支出	-	70,000	- 70,000	
法人税等支出	-	70,000	- 70,000	
事業活動支出計	242,554,000	236,134,142	6,419,858	
事業活動収支差額	25,048,000	45,581,838	- 20,533,838	

収 支 計 算 書

自 平成 21年 4月 1日 至 平成 22年 3月 31日

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
① 敷金・保証金戻り収入	-	4,642,300	- 4,642,300	旧事務所の保証金
出資金戻り収入	-	100,000	- 100,000	
保証金戻り収入	-	4,542,300	- 4,542,300	
② 特定資産取崩収入	-	2,041,855	- 2,041,855	
退職給付引当資産取崩収入	-	2,041,855	- 2,041,855	
投資活動収入計	-	6,684,155	- 6,684,155	
2. 投資活動支出				
① 特定資産取得支出	-	50,854,874	- 50,854,874	公益目的保有財産
退職給付引当資産取得支出	-	854,874	- 854,874	
大会運営積立資産取得支出	-	50,000,000	- 50,000,000	
② 固定資産取得支出	2,000,000	692,839	1,307,161	
什器備品取得支出	1,000,000	692,839	307,161	
繰延資産取得支出	1,000,000	-	1,000,000	
投資活動支出計	2,000,000	51,547,713	- 49,547,713	
投資活動収支差額	- 2,000,000	- 44,863,558	42,863,558	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
① 借入金収入	30,000,000	-	30,000,000	
短期借入金収入	30,000,000	-	30,000,000	
財務活動収入計	30,000,000	-	30,000,000	
2. 財務活動支出				
① 借入金返済支出	30,000,000	-	30,000,000	
短期借入金支出	30,000,000	-	30,000,000	
財務活動支出計	30,000,000	-	30,000,000	
財務活動収支差額	-	-	-	
IV 予備費支出	8,000,000	-	8,000,000	(注)
当期収支差額	15,048,000	718,280	14,329,720	
前期繰越収支差額	100,000,000	94,884,190	5,115,810	
次期繰越収支差額	115,048,000	95,602,470	19,445,530	

(注) 予備費は事業活動支出に充当使用した額である。

平成 22 年度 事業報告書

平成 22 年 4 月 1 日から

平成 23 年 3 月 31 日まで

社団法人 日本エアロビック連盟

平成 22 年度(2010)の事業報告

I. エアロビクの普及・振興に関する事業

1. 生涯エアロビク事業の推進

(1) 「第 23 回全国スポーツ・レクリエーション祭エアロビク大会」の開催

- ・生涯スポーツの祭典全国スポレク祭 2010 は富山県下で開催され、エアロビク大会は県東部に位置する上市町の丸山総合公園総合体育館で 13 回目を開催した。

また、日韓スポーツ交流事業として韓国からの参加もあり、大会の様子は NHK BS2 の定時番組「ドゥ！エアロビク」で 2 週にわたって全国放送された。

【期 間】 10 月 17 日(日)～18 日(月)の 2 日間

【会 場】 富山県中新川郡上市町 丸山総合公園総合体育館

【参加者】 39 チーム 205 名(うち韓国 3 チーム 15 名)

【放 送】 NHK BS2「ドゥ！エアロビク」11 月 18 日(木)、25 日(木)

再放送:11 月 21 日(日)、28 日(日)

(2) 「エアロビク技能検定会」の開催

- ・日頃の教室やレッスンにおいて技術向上の目安やモチベーションを目的としたエアロビク技能検定会は、都道府県連盟および関係団体と協力して年間を通して実施した。
- ・なお、技能検定会の醸成をはかるため、会員誌スマイルで継続して合格者名を掲載していくこととした。

①平成 22 年度エアロビク検定実績(人)

級	受検者	合格者	登録者
10	104	102	64
9	37	36	36
8	242	234	211
7	220	199	183
6	434	389	388
5	245	141	139
4	178	94	94
3	134	50	49
2	39	19	19
1	6	5	5
合 計	1,639	1,269	1,188

②平成 22 年度ジュニア検定実績(人)

級	受検者	合格者	登録者
5	671	638	637
4	708	565	565
3	552	344	329
2	317	109	109
1	120	38	38
合計	2,368	1,694	1,678

③通算受検者数 31,716 人

④通算登録者数 21,963 人

(3) 「アダプテッドエアロビク」の普及および協力

①「第 12 回アダプテッドエアロビク・ナショナルフェスタよこはま 2011」の共催

- ・障害者と健常者が一緒になってエアロビクを楽しむ「アダプテッドエアロビク・ナショナルフェスタよこはま 2011」を神奈川県エアロビク連盟と共催で行った。

なお、エアロビック大会は震災の影響により5月5日(祝)に変更して開催した。

- 【主 催】 神奈川県エアロビック連盟(共催)
【期 日】 2月19日(土)、シンポジウム
5月5日(祝)、エアロビック大会
【会 場】 横浜ラポール
【参加者】 シンポジウム 30 名、エアロビック大会 20 チーム 201 名

②(財)ナイスハート基金の催事協力と指導者派遣

- ・ナイスハート基金が主催する障害者と健常者がスポーツを通じて交流する「ふれあいのスポーツ広場」への協力と指導者派遣を次の通り行った。

福島大会	5月15日(土)	須賀川アリーナ	参加者 273 名
栃木大会	5月22日(土)	白鷗大学体育館	参加者 626 名
大分大会	5月26日(水)	南大分体育館	参加者 295 名
岩手大会	5月29日(土)	盛岡体育館	参加者 298 名
岐阜大会	6月2日(水)	わかくさ・プラザ	参加者 214 名
香川大会	6月2日(水)	高松市西部運動センター体育館	参加者 440 名
山口大会	6月20日(日)	防府市武道館	参加者 472 名
熊本大会	10月9日(土)	大津町運動公園総合体育館	参加者 458 名
茨城大会	10月23日(土)	つくば市桜総合体育館	参加者 290 名
愛知大会	10月23日(土)	つどいの丘・アリーナ	参加者 180 名
静岡大会	11月6日(土)	裾野市民体育館	参加者 411 名
大阪大会	11月10日(水)	大阪府立体育会館	参加者 463 名

(4)「きらきら Kids マナーエアロビック・第3回全国ビデオコンクール」の開催

- ・子どものココロとカラダの支援活動として、凸版印刷(株)の支援を得て「きらきら kids マナーエアロビック・第3回全国ビデオコンクール」を開催した。

- 【後 援】 文部科学省、(財)日本体育協会 他
【期 間】 7月～10月
【応募数】 77 チーム(参加者 4,254 名)
【表 彰】 グランプリ(最優秀賞)3部門3チーム、優秀賞3部門3チーム、
入選3部門9チーム、審査員特別賞1チームを表彰

(5)糖尿病の運動療法を楽しく行う啓発イベントの協力

- ・日本イーライリリー社の社会貢献活動として糖尿病の運動療法を楽しく行う啓発イベントを下記の6会場で協力して行った。

横浜会場	9月4日(土)	北翔大学ポルトホール	参加者 60 名
岐阜会場	10月16日(土)	じゅうろくプラザ2Fホール	参加者 70 名
横浜会場	10月24日(日)	大さん橋ホール	参加者 90 名
京都会場	10月31日(日)	KBS ホール	参加者 40 名
広島会場	11月3日(水)	広島県立総合体育館剣道場	参加者 100 名
東京会場	11月23日(火)	都立産業貿易センター浜松町館	参加者 80 名

2. 競技エアロビック事業の推進

(1) 「スズキワールドカップ 2010・第 21 回世界エアロビック選手権大会」の開催

2010年度は「SUZUKI WORLD CUP 2010第21回世界エアロビック選手権大会」に「FIG ワールドシリーズ東京国際」を併設して、国際エアロビック連盟(IAF)、国際体操連盟 (FIG) と共同で開催した。

【期 日】 予選 4 月 17 日 (土)、決勝 4 月 18 日 (日)
【会 場】 東京体育館 メインアリーナ
【参 加】 19 の国と地域、213 名
【放 送】 NHK BS-1 4 月 24 日 (土) 16:00~16:50

(2) 「スズキジャパンカップ 2010 第 27 回全日本エアロビック選手権大会」の開催

・国内の競技エアロビックの頂点を競うスズキジャパンカップ・全日本エアロビック選手権大会は第 27 回大会を迎え、次の通り都道府県大会、地区大会、全国大会を開催した。

<都道府県大会>

・4 月～7 月の期間に全国都道府県等において各都道府県大会を実施した。

<地区大会>

中部地区大会	9 月 12 日 (日)	中村スポーツセンター	出場者 186 名
北海道地区大会	9 月 20 日 (祝)	北海きたえ〜るメインアリーナ	出場者 71 名
東北地区大会	9 月 23 日 (祝)	仙台市若林体育館	出場者 101 名
九州地区大会	10 月 2 日 (土)	九電記念体育館	出場者 140 名
西日本地区大会	10 月 9 日 (土)	なみはやドームサブアリーナ	出場者 206 名
東日本地区大会	11 月 6 日 (土)	東京体育館	出場者 211 名

<全国大会>

【期 日】 11 月 7 日 (日)
【会 場】 東京体育館
【出場者】 192 名
【放 送】 NHK 総合TV 11 月 13 日 (土) 16:00~17:00

(3) 「JOC ジュニアオリンピックカップ・全国エアロビック選手権大会 in 袋井 2011」の開催

・ユースの頂点を競う「JOC ジュニアオリンピックカップ全国エアロビック選手権大会」は、静岡県袋井市と共催して第 6 回大会を開催した。

・本大会は総務省・文部科学省の「スポーツ拠点づくり推進事業」として開催することから、袋井市をはじめ袋井市内の関係団体と実行委員会を組織して、開催準備と運営等をすすめた。

<予選大会>

・シングル、トリオ部門の予選を「スポーツエアロビック 2010」において行った。
・チーム部門及び AG1 グループ部門の予選を「JOC ジュニアオリンピックカップ・チーム部門・グループ部門予選」として前日に行った。

【期 日】 1 月 22 日 (土)
【会 場】 エコパアリーナ
【参加者】 チーム 32 チーム、336 名 / グループ 5 チーム 30 名

<全国大会>

【期 日】 1 月 23 日 (日)
【会 場】 静岡スタジアム、エコパアリーナ
【参加者】 329 名

(4)「第10回全日本学生エアロビック選手権大会」の開催

- ・学生エアロビックの祭典として、学生エアロビック選手権大会実行委員会と共催して第10回大会を開催した。今回は「第26回ユニバーシアード」の日本代表選手選考会を兼ねて行った。
- ・高校の部を今年から「全日本高等学校エアロビック選手権大会」として併設して開催した。

【期 日】 12月5日(日)

【会 場】 日本工学院八王子専門学校 体育館(東京都八王子市)

【参加者】 大学(大学院)、短大、専門学校:27校、177名 高校、高专:29校、45名

(5)「第6回全国フライト選手権大会」の開催

- ・「スポーツエアロビック2010」と全日本学生選手権大会のフライト部門上位者による第6回全国フライト選手権大会を開催した。

【期 日】 12月26日(日)

【会 場】 ベイコム総合体育館

【参加者】 339名

(6)「スポーツエアロビック2010」の開催

- ・エアロビックの総合的な大会として「スポーツエアロビック2010」を全国9地区で開催した。また、各種全国大会の予選会も兼ねて行った。
- ・本年度より、原則2日間開催として規模の拡大と充実を図った。

宮城オープン	5月2日(日)フライト	泉総合運動場体育館	参加者	207名
	5月3日(祝)競技ルーティン		参加者	83名
大阪オープン	5月28日(土)フライト	大阪市中央体育館	参加者	331名
静岡オープン	6月26日(土)フライト	エコパアリーナ	参加者	301名
	6月27日(日)フライト		参加者	146名
東京オープン	7月17日(土)フライト	東京体育館	参加者	425名
	7月18日(日)競技ルーティン	サブアリーナ	参加者	190名
北海道オープン	7月24日(土)同時開催	北翔大学	参加者	307名
		第一体育館アリーナ		
岡山オープン	8月7日(土)競技ルーティン	山陽ふれあい公園	参加者	31名
	8月8日(日)フライト	総合体育館	参加者	212名
鳥取オープン	9月4日(土)同時開催	三朝町総合スポーツセンター	参加者	243名
福岡オープン	11月20日(土)フライト	折尾スポーツ	参加者	297名
	11月21日(日)競技ルーティン	センター	参加者	185名
兵庫オープン	12月25日(土)競技ルーティン	ベイコム総合体育館	参加者	210名

【全国大会予選の内容】

①JOCジュニアオリンピックカップ、シングル・トリオ部門予選

②全国フライト・エアロビック選手権大会予選

③全国ユースフライト・エアロビック選手権大会予選

【チームチャレンジ】

- ・北海道オープンでは、生涯エアロビック普及の観点からチームチャレンジを実施、13チーム、117名が参加。

(7)「登録クラブ選手権大会」の開催

- ・競技エアロビック登録クラブの進展に伴いクラブの強化と活性化を目的に第1回大会を開催。

【期 日】 7月19日(祝)

【会 場】 東京体育館サブアリーナ

【参加者】 194名

II. エアロビックの国際競技大会等に対する代表参加者の派遣並びに選手強化活動

1. FIG 世界選手権大会・年齢別選手権大会への選手団の派遣

- ・フランスのロデスで開催された国際体操連盟 (FIG) 主催の FIG 世界選手権・年齢別選手権大会への派遣を行った。

【期 間】 6 月 12 日～21 日 (10 日間)

【開催地】 フランス、ロデス市

【派遣数】 47 名 (選手、審判・役員)

2. FIG World Cup Series への選手・審判員の派遣

- ・国際体操連盟 (FIG) が主催する下記ワールドシリーズ大会への派遣を行った。

【期間】 2011 年 2 月 23 日～28 日 (6 日間)

【場所】 フランス、アレックスバインズ

【派遣数】 2 名 (選手、審判)

3. アジア選手権大会への選手団の派遣

- ・A G U (アジア体操連合) が主催するアジア選手権大会への派遣を行った。

【期間】 12 月 14 日～18 日 (5 日間)

【開催地】 ベトナム ホーチミン市

【派遣数】 20 名 (選手、審判・役員)

4. 選手強化の一環として、ルーマニアで合同合宿の開催

- ・JAF 初の試みとして、ルーマニア体操協会の支援を得て黒海沿岸のコンスタンツァ市において日本のユース選手と地元ユース選手の合同合宿を開催した。

2 月のナショナルキャンプ 2011 等を通じて、本合宿の報告等を行った。また、今後も継続して両国間の選手、コーチの派遣、招聘等の交流を図っていく。

【期間】 8 月 20 日～27 日 (7 日間)

【場所】 ルーマニア コンスタンツァ市

【派遣数】 14 名 (選手、コーチ・役員)

III. エアロビックの講習会の開催及び指導者の育成

1. 公認エアロビック指導者養成事業の推進

(1) 公認スポーツ指導者に関する養成講習会の開催

- ・(財) 日本体育協会と共催して行う公認スポーツ指導員 (専門科目) 養成講習会を開催した。

東京会場	前期	7 月 24 日 (土) ～	7 月 25 日 (日)	江戸川区総合体育館	受講者 18 名
	後期	8 月 21 日 (土) ～	8 月 22 日 (日)		
新潟会場	前期	9 月 11 日 (土) ～	9 月 12 日 (日)	新潟市横越総合体育館	受講者 18 名
	後期	11 月 13 日 (土) ～	11 月 14 日 (日)		

(2) 専門科目の検定試験等の実施

- ・公認エアロビック指導員の検定試験を行った。

■承認校における公認エアロビック指導員・教師専門科目 (検定試験)

岩手会場	2 月 5 日 (土)	盛岡大学短期大学部	受検者	15 名
北海道会場	2 月 6 日 (日)	北翔大学	受検者	11 名
大阪会場	2 月 12 日 (土)	園田学園女子大学	受検者	10 名
東京会場	2 月 13 日 (日)	東京スポーツ・レクリエーション専門学校	受検者	11 名
山口会場	2 月 13 日 (日)	東亜大学	受検者	10 名

2. JAF 認定エアロビック指導者養成事業の推進

(1) 「JAF National Camp 2011」の開催

・指導者養成に関する各種講習会・研修会を集中的に行う「JAF National Camp 2011」を開催した。

【期 間】	2 月 22 日(火)～27 日(日)	
【会 場】	国立オリンピック記念青少年総合センター	
【内 容】	指導専門委員中央研修会	受講者 42 名
	指導専門委員新規養成講習会	受講者 30 名
	TA 中央研修会(プログラム A)	受講者 80 名
	TA 中央研修会(プログラム B)	受講者 82 名
	TA 新規養成講習会	受講者 15 名
	審判員中央研修会(プログラム A)	受講者 42 名
	審判員中央研修会(プログラム B)	受講者 23 名
	審判員中央研修会(プログラム C)	受講者 74 名
	審判員昇級試験	受験者 10 名
	技能検定員中央研修会	受講者 56 名
	ジュニア技能検定員中央研修会	受講者 20 名
	ジュニア技能検定員新規養成講習会	受講者 5 名
	JAF エアロビックセミナー(プログラム A)	受講者 28 名
	JAF エアロビックセミナー(プログラム B)	受講者 29 名
	JAF エアロビックセミナー(プログラム C)	受講者 14 名
	JAF エアロビックセミナー(プログラム D)	受講者 14 名
	登録クラブ練習会	9 クラブ 28 名
	エアロビック技能検定会	受検者 11 名
	JAF SUPER CAMP ミニ(プログラム A)	受講者 40 名
	JAF SUPER CAMP ミニ(プログラム B)	受講者 33 名
	JAF SUPER CAMP 一般・マスターズ(プログラム A)	受講者 13 名
	JAF SUPER CAMP 一般・マスターズ(プログラム B)	受講者 44 名
	JAF SUPER CAMP ユース	受講者 48 名

(2) 県連及び登録クラブによる「C級審判員養成講習会」の開催

東京会場	4 月 11 日(日)・5 月 2 日(日) 5 月 30 日(日)・6 月 27 日(日)	OKJ エアロビックファミリー	受講者 12 名
熊本会場	8 月 21 日(土)～22 日(日)	熊本県エアロビック連盟	受講者 15 名
神奈川会場	7 月 3 日(土)～4 日(日)	湘南茅ヶ崎 A.G.C.	受講者 10 名
茨城会場	7 月 3 日(土)～4 日(日)	茨城県・千葉県エアロビック連盟	受講者 4 名
福島会場	10 月 23 日(土)～24 日(日)	福島県エアロビック連盟	受講者 13 名
宮城会場	1 月 15 日(土)～16 日(日)	宮城県エアロビック連盟	受講者 12 名
香川会場	3 月 20 日(日)～21 日(月・祝)	香川県エアロビック連盟	受講者 10 名

(3) 「キッズ・ジュニアエアロビック指導員養成講習会」の開催

東京会場	6 月 19 日(土)～6 月 20 日(日)	有明スポーツセンター	受講者 25 名 (内試験のみ)
------	-------------------------	------------	---------------------

岩手会場	通年	修紅短期大学	受講者 73 名
山梨会場	2 月 9 日(水)～2 月 10 日(木)	山梨学院短期大学	受講生 26 名
静岡会場	通年	浜松大学	受講生 8 名

(5) 「アクアエアロビック指導員(Ⅱ種)養成講習会」の開催

東京会場	9 月 1 日(水)～9 月 2 日(木)	日本工学院八王子専門学校	受講者 17 名
山梨会場	1 月 29 日(土)～1 月 30 日(日)	山梨学院短期大学	受講者 19 名

3. 指導者資格更新に関するセミナーの推進

(1) 「JAF エアロビックセミナー」の開催

・ JAF 認定ならびに公認指導者の資格更新を兼ねて行う、JAF エアロビックセミナーを開催した。

福岡会場※	4 月 4 日(日)	芦屋町総合体育館	受講生 22 名
福島会場※	4 月 7 日(水)	いわき市立中央台公民館	受講生 12 名
岩手会場※	4 月 18 日(日)	花巻市総合体育館多目的ホール	受講生 13 名
千葉会場※	4 月 25 日(日)	千葉ポートアリーナ	受講生 5 名
東京会場	6 月 20 日(日)	有明スポーツセンター	受講生 29 名
東京会場	8 月 21 日(土)	江戸川区総合体育館	受講生 24 名
東京会場	11 月 23 日(祝)	清島温水プール	受講生 12 名
北海道会場※	3 月 13 日(日)	YMCA 英語・スポーツ専門学校	受講生 12 名

(※は道県連盟が主管して実施)

IV. 競技力向上に関する事業の推進

1. 「スーパーキャンプ」の開催

・ 競技力の底辺拡大と強化を目的とした競技エアロビックの「スーパーキャンプ」を全国 4 地区で開催した。本年度より、競技間交流として(財)日本体操協会に講師派遣を依頼して行った。

東京会場	11 月 23 日(祝)	江戸川区総合体育館	参加者 44 名
兵庫会場	12 月 4 日(土)	兵庫県立文化体育館	参加者 111 名
福岡会場	2 月 5 日(土)	福岡市立博多体育館	参加者 37 名
福岡会場	2 月 12 日(土)	福岡市立南体育館	参加者 96 名
仙台会場	3 月 5 日(土)・6 (日)	仙台市若林体育館	参加者 130 名

2. 「チームジャパン合宿」の開催

・ スズキワールドカップ 2011 の出場選手が参加して「チームジャパン合宿」を行った。

【期 間】	2 月 18 日(金)～21 日(月)
【会 場】	国立オリンピック記念青少年総合センター
【参加者】	14 名 (一般 7 名、ユース 2 名、コーチ 5 名)

V. 各種関連団体との協調と連携

1. 競技力向上に関する研究(継続研究)

・ ルーマニアとの合同合宿、チームジャパン合宿等を通じて選手強化に関する研究をすすめた。

2. 生涯エアロビックに関する研究(継続研究)

・ 袋井エアロビック協議会と協力して 23 年度の推進事業として、「スローエアロビック」のプログラム開発をスタートさせた。

- ・中学校体育のダンス授業への導入を目的に「チーム・ダンスエアロビック」の編集と制作をすすめた。

3. アダプテッド・エアロビックに関する研究（継続研究）

- ・神奈川県エアロビック連盟の事業委託、ナイスハート基金「ふれあいスポーツ広場」への指導者派遣等を通じて継続的な研究をすすめた。

4. エアロビック・フィットネス協議会 (AFC) との連携

- ・エアロビック・フィットネス界の発展を目的として 2000 年に設立。
2010 年度も（社）日本フィットネス協会、アフア・ジャパンの主要団体と協力連携して次の事業を行った。

- ①機関紙「AFC PRESS」の年 4 回の発行と編集協力
- ②AFC 設立 10 周年記念企画として「感動ストーリー」を募集

VI. 広報活動の推進

1. NHK 定時番組等の制作協力

①定時番組「BS エアロビック」の制作協力

- ・1998 年にスタートした NHKBS-2 の定時番組「BS エアロビック」の制作協力を本年も継続して行った。

【出演者】 吉田知子・本間友暁・田中小夜子

【放送】 NHK BS-2 4 月より月曜日～木曜日 午前 9：50～10：00（10 分番組）

②定時番組「ドウ！エアロビック」の制作協力

- ・2003 年 10 月にスタートした全国各地の街や職場を紹介し、参加者と一緒にエアロビックを楽しむ公開収録による NHKBS-2 の定時番組「ドウ！エアロビック」の制作協力を行った。
- ・10 月に開催されたスポレクとやま 2011 での番組収録を行った。

【放送】 毎週木曜日、NHK BS-2 午後 12：30～12：54（24 分番組）

【内容】 全国各地を訪問する公開収録形式

【出演者】 知念かおる他

2. JAF 会員誌『スマイル』の発行

- ・本連盟会員のための情報誌として 1998 年 7 月に創刊。本年も年 4 回発行した。

48 号	4 月 1 日発行	各 5,000 部発行
49 号	7 月 1 日発行	
50 号	10 月 1 日発行	
51 号	1 月 1 日発行	

VII. その他法人の目的を達成するために必要な事業

1. 都道府県連盟の加盟状況

- ・2010 年度の都道府県連盟の加盟状況は、次の通りとなった。

【加盟】 31 都府県

【準加盟】 4 県 栃木、群馬、茨城、山口

【設立準備委員会】 5 県 新潟、愛媛、大分、鹿児島、沖縄

※未組織は 7 府県（京都、奈良、和歌山、徳島、高知、島根、佐賀）

2. 賛助会員（法人・個人・サークル）の推進

- ・2010 年度の、賛助会員数の状況は、次の通りとなった。

【法人賛助会員】 22 社 (企業関係 11、学校関係 11)

【個人賛助会員】 1,889 人

3. 選手登録の推進

- ・2010 年度の選手登録状況は、次の通りとなった。

【選手登録数】 2,650 人(毎年更新)

4. 競技登録クラブの推進

- ・2010 年度の「JAF 競技登録クラブ」の登録状況は、次の通りとなった。

【競技登録クラブ】 44 クラブ

以上

平成22年度 決算報告書

平成22年 4月 1日から
平成23年 3月31日まで

1. 財務諸表

- (1) 貸借対照表
- (2) 正味財産増減計算書
- (3) 財産目録

2. 収支計算書

- (1) 収支計算書
- (2) 収支計算書に対する注記

社団法人日本エアロビック連盟

貸借対照表
平成 23年 3月 31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	68,343,779	116,505,443	-48,161,664
売掛金	537,600	200,200	337,400
商品	884,384	989,250	-104,866
貯蔵品	1,625,011	2,181,494	-556,483
未収入金	337,268	2,766,235	-2,428,967
前払費用	3,509,060	2,564,779	944,281
流動資産合計	75,237,102	125,207,401	-49,970,299
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	20,000,000	20,000,000	-
基本財産合計	20,000,000	20,000,000	-
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	7,314,176	3,614,240	3,699,936
大会運営積立資産	105,000,000	50,000,000	55,000,000
特定資産合計	112,314,176	53,614,240	58,699,936
(3) その他固定資産			
建物附属設備	4,489	8,974	-4,485
什器備品	4,173,507	1,363,248	2,810,259
電話加入権	291,200	291,200	-
ソフトウェア	2,501,668	2,561,148	-59,480
保証金	2,667,600	2,667,600	-
長期前払費用	-	711,978	-711,978
その他固定資産合計	9,638,464	7,604,148	2,034,316
固定資産合計	141,952,640	81,218,388	60,734,252
資産合計	217,189,742	206,425,789	10,763,953
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	4,335,279	5,669,306	-1,334,027
未払費用	2,570,129	2,836,219	-266,090
前受金	3,429,500	4,861,229	-1,431,729
預り金	1,837,550	9,659,733	-7,822,183
未払法人税等	70,000	70,000	-
未払消費税等	131,100	3,337,700	-3,206,600
流動負債合計	12,373,558	26,434,187	-14,060,629
2. 固定負債			
退職給付引当金	8,788,451	3,614,240	5,174,211
固定負債合計	8,788,451	3,614,240	5,174,211
負債合計	21,162,009	30,048,427	-8,886,418
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	20,000,000	20,000,000	-
指定正味財産合計	20,000,000	20,000,000	-
(うち基本財産への充当額)	(20,000,000)	(20,000,000)	(-)
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	(105,000,000)	(50,000,000)	(55,000,000)
正味財産合計	196,027,733	176,377,362	19,650,371
負債及び正味財産合計	217,189,742	206,425,789	10,763,953

正味財産増減計算書

平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	20,000	30,820	-10,820
基本財産受取利息	20,000	30,820	-10,820
② 特定資産運用益	47,521	10,949	36,572
特定資産受取利息	47,521	10,949	36,572
③ 受取会費	16,490,839	19,103,751	-2,612,912
正会員受取会費	2,800,000	2,500,000	300,000
賛助会員受取会費	10,441,800	13,095,200	-2,653,400
登録クラブ受取会費	2,400,000	2,460,000	-60,000
国際加盟費受取会費	849,039	1,048,551	-199,512
④ 事業収益	234,534,322	256,254,906	-21,720,584
競技会事業収益	165,096,315	188,506,425	-23,410,110
認定登録事業収益	12,292,802	10,623,585	1,669,217
講習会等事業収益	53,279,550	52,543,048	736,502
商品売上事業収益	3,865,655	4,581,848	-716,193
⑤ 受取補助金等	2,864,000	4,538,295	-1,674,295
受取民間助成金	2,864,000	4,538,295	-1,674,295
⑥ 雑収益	797,801	1,777,259	-979,458
受取利息	43,582	57,673	-14,091
受取配当金	-	6,000	-6,000
雑収益	754,219	1,713,586	-959,367
経常収益計	254,754,483	281,715,980	-26,961,497
(2) 経常費用			
① 事業費			
期首商品棚卸高	989,250	2,934,254	-1,945,004
商品仕入高	870,808	925,221	-54,413
期末商品棚卸高	-1,037,530	-2,012,290	974,760
普及・指導	23,456,891	16,979,394	6,477,497
競技会	86,688,615	91,214,079	-4,525,464
講習会・指導者育成	6,458,117	10,121,080	-3,662,963
給料手当	48,765,820	50,706,712	-1,940,892
退職給付費用	4,602,211	735,068	3,867,143
法定福利費	7,349,794	7,276,863	72,931
福利厚生費	127,036	141,248	-14,212
広告宣伝費	-	2,209,762	-2,209,762
接待交際費	146,430	325,140	-178,710
会議費	5,055	34,313	-29,258
旅費交通費	2,362,527	2,183,284	179,243
出張手当	13,335	57,625	-44,290
通信運搬費	1,264,492	2,466,240	-1,201,748
消耗品費	3,027,131	1,626,405	1,400,726
修繕費	-	1,411,476	-1,411,476
賃借料	515,321	664,357	-149,036
事務所賃借料	5,738,594	5,853,521	-114,927
保険料	276,404	243,404	33,000
租税公課	9,000	2,000	7,000
雑費	2,653,606	4,299,283	-1,645,677
事業費計	194,282,907	200,398,439	-6,115,532

正味財産増減計算書

平成 22年 4月 1日から平成 23年 3月 31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
② 管理費			
給料手当	16,800,000	16,800,000	-
退職給付費用	1,400,000	1,400,000	-
法定福利費	2,116,392	1,965,810	150,582
福利厚生費	62,705	88,456	-25,751
接待交際費	405,911	376,118	29,793
会議費	94,040	129,658	-35,618
旅費交通費	1,265,981	1,126,323	139,658
出張手当	32,859	91,027	-58,168
通信運搬費	354,270	552,221	-197,951
減価償却費	4,239,557	3,214,517	1,025,040
消耗品費	401,712	527,579	-125,867
修繕費	12,267	325,725	-313,458
賃借料	254,694	297,556	-42,862
事務所賃借料	1,480,711	1,346,118	134,593
保険料	32,620	40,700	-8,080
租税公課	495,165	583,113	-87,948
支払寄付金(注1)	1,727,000	-	1,727,000
雑費	9,335,798	9,860,335	-524,537
管理費計	40,511,682	38,725,256	1,786,426
経常費用計	234,794,589	239,123,695	-4,329,106
当期経常増減額	19,959,894	42,592,285	-22,632,391
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 什器備品売却益	22,542	-	22,542
経常外収益計	22,542	-	22,542
(2) 経常外費用			
① 什器備品除却損	108,919	36,635	72,284
② 棚卸商品減耗損	153,146	1,023,040	-869,894
経常外費用計	262,065	1,059,675	-797,610
当期経常外増減額	-239,523	-1,059,675	820,152
税引前当期一般正味財産増減額	19,720,371	41,532,610	-21,812,239
法人税等	70,000	70,000	-
当期一般正味財産増減額	19,650,371	41,462,610	-21,812,239
一般正味財産期首残高	156,377,362	114,914,752	41,462,610
一般正味財産期末残高	176,027,733	156,377,362	19,650,371
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	-	-	-
指定正味財産期首残高	20,000,000	20,000,000	-
指定正味財産期末残高	20,000,000	20,000,000	-
III 正味財産期末残高	196,027,733	176,377,362	19,650,371

(注) 支払寄付金には東日本大震災のお見舞金1,416,000円を含む

財 産 目 録
平成 23年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目		金 額		
I. 資産の部				
1. 流動資産				
現 金 預 金				
現 金	現金手許有高	422,988		
普 通 預 金	みずほ銀行 祐天寺支店	66,957,622		
	川崎信用金庫 宮前平支店	436,930		
	三菱東京UFJ銀行 大井支店	163,470		
郵 便 振 替	ゆうちょ銀行 品川支店	362,769		
売 掛 金	指導教本他	537,600		
商 品	キティTシャツ@1,646*111枚 技能検定曲CD@2,205*61枚 JAFエンブレム@6,300*22枚 スポーツエアロビック規定曲集@770*41枚 きらさら書籍@1,109*31冊 きらさらDVD&CD@1,889*13枚 競技ルーティン採点事例セット@571*35枚 審判員試験問題集280*18冊 採点規則2009-2012@1,428*167冊 メタボリック対策DVD@2,450*17本 技Tシャツ1,266*26枚	884,384		
貯 蔵 品	切手類36,310 教材関係1,588,701	1,625,011		
未 収 入 金	22年度アクアエアロビック指導員認定試験料他	337,268		
前 払 費 用	平成23年度諸経費	3,509,060		
	流 動 資 産 合 計		75,237,102	
2. 固定資産				
(1)基本財産				
定 期 預 金	三菱東京UFJ銀行 大井支店	20,000,000		
	基 本 財 産 合 計	20,000,000		
(2)特定資産				
退職給付引当資産	定期積金 みずほ銀行 祐天寺支店	3,714,176		
	定期預金 川崎信用金庫 宮前平支店	2,400,000		
	三菱東京UFJ銀行 大井支店	1,200,000		
大会運営積立資産	定期預金 みずほ銀行 祐天寺支店	55,000,000		
	三菱東京UFJ銀行 大井支店	50,000,000		
	特 定 資 産 合 計	112,314,176		
(3)その他の固定資産				
建 物 付 属 設 備	可動間仕切り エフエム総研 2,413 可動間仕切り (株)バンテック 2,076	4,489		
什 器 備 品	エアロビックフロアH22年度 3,564,926 エアロビックフロアH16年度 270,002 パソコン 196,479 、ルーター 72,516 パソコンサーバー 69,584	4,173,507		
電 話 加 入 権	03-5796-7521他	291,200		
ソ フ ト ウ ェ ア	集計システムH20年度 787,500、集計システムH22年度 618,334 会員管理システム 522,500、選手登録システム 283,334 W/Cエントリー管理システム 290,000	2,501,668		
保 証 金	市川庄次(事務所) 2,667,600	2,667,600		
	その他の固定資産合計	9,638,464		
	固 定 資 産 合 計		141,952,640	
	資 産 合 計			217,189,742
II. 負債の部				
1. 流動負債				
未 払 金	事業関係経費他	4,335,279		
未 払 費 用	従業員給与・社会保険他	2,570,129		
前 受 金	23年度協賛金他	3,429,500		
預 り 金	社会保険料、源泉所得税他	1,837,550		
未 払 法 人 税 等		70,000		
未 払 消 費 税 等		131,100		
	流 動 負 債 合 計		12,373,558	
2. 固定負債				
退職給付引当金		8,788,451		
	固 定 負 債 合 計		8,788,451	
	負 債 合 計			21,162,009
	正 味 財 産			196,027,733

収 支 計 算 書

自 平成 22 年 4 月 1 日 至 平成 23 年 3 月 31 日

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 基本財産運用収入	20,000	20,000	-	
基本財産利息収入	20,000	20,000	-	
② 特定資産運用収入	45,000	47,521	-2,521	
特定資産利息収入	45,000	47,521	-2,521	
③ 会費収入	19,030,000	16,490,839	2,539,161	
正会員会費収入	3,350,000	2,800,000	550,000	
賛助会員会費収入	12,060,000	10,441,800	1,618,200	賛助会費の減
登録クラブ会費収入	2,520,000	2,400,000	120,000	
国際加盟費収入	1,100,000	849,039	250,961	
④ 事業収入	217,123,000	234,534,322	-17,411,322	
競技会収入	151,968,000	165,096,315	-13,128,315	協賛金、参加料収入の増
認定・登録料収入	12,369,000	12,292,802	76,198	
講習会等収入	49,786,000	53,279,550	-3,493,550	受託収入の増
商品売上収入	3,000,000	3,865,655	-865,655	
⑤ 補助金等収入	3,168,000	2,864,000	304,000	
民間助成金収入	3,168,000	2,864,000	304,000	
⑥ 雑収入	510,000	797,801	-287,801	
受取利息	55,000	43,582	11,418	
雑収入	455,000	754,219	-299,219	
事業活動収入計	239,896,000	254,754,483	-14,858,483	
2. 事業活動支出				
① 事業費支出	192,890,000	190,004,230	2,885,770	
商品仕入高支出	1,000,000	870,808	129,192	
普及・指導支出	24,866,000	23,032,140	1,833,860	一部事業中止による減
競技会支出	82,365,000	86,688,615	-4,323,615	派遣事業の増
講習会・指導者育成支出	7,672,000	6,797,197	874,803	
給料手当支出	52,122,000	48,765,820	3,356,180	職員退職による減
退職給付費用支出	828,000	828,000	-	
法定福利費支出	6,818,000	7,349,794	-531,794	
福利厚生費支出	150,000	127,036	22,964	
広告宣伝費支出	100,000	-	100,000	
接待交際費支出	300,000	146,430	153,570	
会議費支出	50,000	5,055	44,945	
旅費交通費支出	2,319,000	2,362,527	-43,527	
出張手当支出	60,000	13,335	46,665	
通信運搬費支出	2,773,000	1,260,450	1,512,550	運搬費見直しによる減
消耗品費支出	2,792,000	2,587,107	204,893	
修繕費支出	50,000	-	50,000	
賃借料支出	481,000	515,321	-34,321	
事務所賃借料支出	5,687,000	5,738,594	-51,594	
保険料支出	240,000	276,404	-36,404	
租税公課支出	10,000	9,000	1,000	
雑費支出	2,207,000	2,630,597	-423,597	
② 管理費支出	33,181,000	34,868,388	-1,687,388	
給料手当支出	16,800,000	16,800,000	-	
法定福利費支出	2,090,000	2,116,392	-26,392	
福利厚生費支出	76,000	62,705	13,295	
接待交際費支出	200,000	405,911	-205,911	
会議費支出	100,000	94,040	5,960	
旅費交通費支出	1,218,000	1,265,981	-47,981	
出張手当支出	39,000	32,859	6,141	
通信運搬費支出	545,000	355,854	189,146	
消耗品費支出	415,000	401,712	13,288	
修繕費支出	50,000	12,267	37,733	
賃借料支出	261,000	254,694	6,306	
事務所賃借料支出	1,551,000	1,480,711	70,289	
保険料支出	41,000	32,620	8,380	
租税公課支出	520,000	495,165	24,835	
支払寄付金支出	-	1,727,000	-1,727,000	震災お見舞金による増
雑費支出	9,275,000	9,330,477	-55,477	
③ その他事業活動支出	1,500,000	70,000	1,430,000	
法人税等支出	1,500,000	70,000	1,430,000	
事業活動支出計	227,571,000	224,942,618	2,628,382	
事業活動収支差額	12,325,000	29,811,865	-17,486,865	

収 支 計 算 書

自 平成 22年 4月 1日 至 平成 23年 3月 31日

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
Ⅱ 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
固定資産売却収入	-	99,750	-99,750	
投資活動収入計	-	99,750	-99,750	
2. 投資活動支出				
① 特定資産取得支出	1,655,000	58,699,936	-57,044,936	
退職給付引当資産取得支出	1,655,000	3,699,936	-2,044,936	23年度見込みによる増
大会運営積立資産取得支出	-	55,000,000	-55,000,000	積み増しによる増
② 固定資産取得支出	9,800,000	6,460,000	3,340,000	
什器備品取得支出	8,500,000	5,460,000	3,040,000	エアロビックフロア価格の減
ソフトウェア取得支出	800,000	1,000,000	-200,000	
繰延資産取得支出	500,000	-	500,000	
投資活動支出計	11,455,000	65,159,936	-53,704,936	
投資活動収支差額	-11,455,000	-65,060,186	53,605,186	
Ⅲ 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	-	-	-	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	-	-	-	
財務活動収支差額	-	-	-	
Ⅳ 予備費支出	870,000	-	870,000	(注)
当期収支差額	-	-35,248,321	35,248,321	
前期繰越収支差額	95,602,000	95,602,470	-470	
次期繰越収支差額	95,602,000	60,354,149	35,247,851	

(注) 予備費は事業活動支出に充当使用した額である。

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金及び短期金銭債権債務が含まれる。
なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位:円)

科 目	前 期 末 残 高	当 期 末 残 高
現 金 預 金	116,505,443	68,343,779
売 掛 金	200,200	537,600
未 収 入 金	2,766,235	337,268
前 払 費 用	2,564,779	3,509,060
合 計	122,036,657	72,727,707
未 払 金	5,669,306	4,335,279
未 払 費 用	2,836,219	2,570,129
前 受 金	4,861,229	3,429,500
預 り 金	9,659,733	1,837,550
未 払 法 人 税 等	70,000	70,000
未 払 消 費 税 等	3,337,700	131,100
合 計	26,434,187	12,373,558
次 期 繰 越 収 支 差 額	95,602,470	60,354,149

平成23年度 事業・決算報告書

平成23年 4月 1日から
平成24年 3月31日まで

I. 事業報告

II. 決算報告

1. 財務諸表

- (1) 貸借対照表
- (2) 正味財産増減計算書
- (3) 財務諸表に対する注記
- (4) 財産目録

2. 収支計算書

- (1) 収支計算書
- (2) 収支計算書に対する注記

III. 監査報告書

社団法人日本エアロビック連盟

I . 事業報告

平成 23 年度(2011)の事業報告

I. エアロビクの普及・振興に関する事業

1. 生涯エアロビク事業の推進

(1)「第 24 回全国スポーツ・レクリエーション祭エアロビク大会」の開催

- ・生涯スポーツの祭典全国スポレク祭 2011 は栃木県下で開催され、エアロビク大会は那須町的那須町スポーツセンターで 14 回目を開催した。

また、日韓スポーツ交流事業として韓国からの参加もあり、大会の様子は NHK BS プレミアム「ドゥ！エアロビク」で 2 週にわたって全国放送された。

【期 間】 11 月 6 日(日)～7 日(月)の 2 日間

【会 場】 栃木県那須郡那須町 那須町スポーツセンター

【参加者】 47 チーム 261 名(うち韓国 3 チーム 15 名)

【放 送】 NHK BS プレミアム「ドゥ！エアロビク」12 月 5 日(月)、12 日(月)
再放送:12 月 10 日(土)、17 日(土)

(2)「スローエアロビク」の開発と普及

- ・凸版印刷(株)の支援を得て、袋井市民の健康づくりプログラムとして「スローエアロビク」を開発し、袋井市の関係機関と連携して市民向けに普及指導を行った。また、袋井発の健康づくりプログラムとして全国への普及を図った。

【主な事業】

7 月 3 日(日) 袋井市スローエアロビク指導者講習会の開催

8 月 6 日(土) 遠州花火大会会場でスローエアロビクのデモと指導

10 月 18 日(火) NHKBS プレミアム「ドゥ！エアロビク」の収録と全国放送

1 月 22 日(日) リーフレットの制作と配布 (25,000 部)

1 月 12 日～3 月 22 日 市民向けスローエアロビク教室の開催と効果測定

その他

(3)「みんなでエアロビク第 4 回全国ビデオコンクール」の開催

- ・凸版印刷(株)の支援を得て「みんなでエアロビク・第 4 回全国ビデオコンクール」を開催した。

【後 援】 文部科学省、袋井市、(財)日本体育協会 他

【期 間】 9 月～11 月

【応募数】 77 チーム(参加者 4,254 名)

【表 彰】 グランプリ(最優秀賞)3 部門 3 チーム、優秀賞 3 部門 3 チーム、
入選 3 部門 9 チーム、特別賞 1 チームを表彰

(4)「エアロビク技能検定会」の開催とガイドの改訂

- ・日頃の教室やレッスンにおいて技術向上の目安やモチベーションを目的としたエアロビク技能検定会を、都道府県連盟および関係団体と協力して年間を通して実施した。
- ・普及指導委員会の検定プロジェクトを発足して、エアロビク検定の改訂を行い第 3 版のガイドブックを制作した。これにより新しいエアロビク愛好者の開拓をすすめるものとした。

①2011 年度エアロビク検定実績(人)

級	受検者	合格者	登録者
10	43	42	41
9	61	58	58
8	105	104	100
7	162	153	135
6	294	262	259
5	215	126	126

4	110	73	73
3	70	27	27
2	32	15	15
1	0	0	0
合 計	1,092	857	834

②2011 年度ジュニア検定実績(人)

級	受検者	合格者	登録者
5	558	555	555
4	487	374	374
3	507	381	381
2	345	166	166
1	102	54	54
合計	1,999	1,530	1,530

③通算受検者数 34,807 人

④通算登録者数 24,327 人

(5)「アダプテッドエアロビック」の普及および協力

①「アダプテッドエアロビック・ナショナルフェスタよこはま 2012」の共催

- ・障害者と健常者が一緒になってエアロビックを楽しむ「アダプテッドエアロビック・ナショナルフェスタよこはま 2012」を神奈川県エアロビック連盟と共催で行った。

【主 催】 神奈川県エアロビック連盟(共催)
【期 日】 2 月 19 日(日)、シンポジウム
3 月 11 日(日)、エアロビック大会
【会 場】 横浜ラポール
【参加者】 シンポジウム 30 名、エアロビック大会 650 名

②ナイスハート基金の催事協力と指導者派遣

- ・(公財) ナイスハート基金が主催する障害者と健常者がスポーツを通じて交流する「ふれあいのスポーツ広場」への協力と指導者派遣を次の通り行った。

宮崎大会	4 月 25 日(月)	延岡市民体育館	参加者 268 名
京都大会	6 月 5 日(日)	京都市障害者スポーツセンター	参加者 721 名
北海道大会	6 月 14 日(火)	北広島市総合体育館	参加者 275 名
兵庫大会	6 月 22 日(水)	兵庫県立総合体育館	参加者 192 名
石川大会	7 月 4 日(月)	いしかわ総合スポーツセンター	参加者 437 名
熊本大会	10 月 9 日(土)	人吉スポーツパレス	参加者 588 名
長野大会	11 月 26 日(土)	坂城町文化センター体育館	参加者 370 名

(6)糖尿病の運動療法を楽しく行う啓発イベントの協力

- ・日本イーライリリー社の社会貢献活動として糖尿病の運動療法を楽しく行う啓発イベントを下記の 5 会場で協力して行った。

横浜会場	11 月 6 日(日)	ラジオ日本ラジアントホール	参加者 40 名
東京会場	11 月 12 日(土)	あいおいニッセイ同和損保新宿ビル	参加者 50 名
福岡会場	11 月 13 日(日)	天神イムズ イムズホール	参加者 60 名
尼崎会場	11 月 27 日(日)	園田学園中学校・高等学校清明ホール	参加者 50 名
福井会場	12 月 18 日(日)	福井商工会議所コンベンションホール	参加者 60 名

2. 競技エアロビック事業の推進

(1) 「スズキワールドカップ 2011 第 22 回世界エアロビック選手権大会」の開催

「SUZUKI WORLD CUP 2011第22回世界エアロビック選手権大会」は「FIG ワールドシリーズ浜松国際」を併設して、国際エアロビック連盟(IAF)、国際体操連盟(FIG)と共同で開催した。なお、本年度 は東日本大震災の影響により、会場を浜松市に移して実施した。

【期 日】	予選 6 月 4 日(土)、決勝 6 月 5 日(日)
【会 場】	ACT City 展示イベントホール
【参 加】	7 ヶ国、74 名
【成 績】	①AG1 女子シングル 優勝、準優勝 ②AG1 トリオ 優勝、準優勝 ③AG2 女子シングル 優勝、準優勝 ④AG2 男子シングル 優勝、3 位 ⑤AG2 トリオ 優勝、準優勝 ⑥一般男子シングル 3 位、5 位 ⑦一般女子シングル 優勝、準優勝 ⑧ミックスペア 3 位、5 位 ⑨トリオ 準優勝、3 位
【放 送】	NHK BS-1 6 月 11 日(土) 13:00～13:50 6 月 13 日(月) 18:00～18:50(再放送) NHK ワールドプレミアム 6 月 28 日(火) 15:00～15:50

(2) 「スズキジャパンカップ 2011 第 28 回全日本エアロビック選手権大会」の開催

- ・国内の競技エアロビックの頂点を競うスズキジャパンカップ・全日本エアロビック選手権大会は第 28 回大会を迎え、次の通り都道府県大会、地区大会、全国大会を開催した。

<都道府県大会>

- ・4 月～7 月の期間に全国都道府県において各都道府県大会を実施した。

<地区大会>

中部地区大会	9 月 10 日(土)	中村スポーツセンター	出場者 178 名
北海道地区大会	9 月 23 日(祝)	北翔大学 第 1 体育館	出場者 71 名
東北地区大会	10 月 1 日(土)	上市市体育文化センター	出場者 85 名
九州地区大会	10 月 1 日(土)	九電記念体育館	出場者 130 名
西日本地区大会	10 月 15 日(土)	なみはやドームサブアリーナ	出場者 139 名
東日本地区大会	10 月 29 日(土)	東京武道館	出場者 202 名

<全国大会>

【期 日】	10 月 30 日(日)
【会 場】	東京武道館(足立区綾瀬)
【出場者】	192 名
【放 送】	NHK 総合TV 11 月 5 日(土) 16:00～17:00

(3) 「JOC ジュニアオリンピックカップ・全国エアロビック選手権大会 in 袋井 2012」の開催

- ・ユースの頂点を競う「JOC ジュニアオリンピックカップ全国エアロビック選手権大会」は、静岡県袋井市と共催して第 7 回大会を開催した。
- ・本大会は総務省・文部科学省の「スポーツ拠点づくり推進事業」として開催することから、袋井市をはじめ袋井市内の関係団体と実行委員会を組織して、開催準備と運営等をすすめた。

<予選大会>

- ・シングル、トリオ部門の予選を「スポーツエアロビック 2011」において行った。

- ・ チーム部門及び AG1 グループ部門の予選を「JOC ジュニアオリンピックカップ・チーム部門・グループ部門予選」として前日に行った。

【期 日】 1 月 21 日 (土)
 【会 場】 エコパアリーナ サブアリーナ
 【参加者】 チーム 28 チーム、227 名 / グループ 5 チーム 36 名

< 全国大会 >

【期 日】 1 月 22 日 (日)
 【会 場】 エコパアリーナ メインアリーナ
 【参加者】 316 名

(4) 「第 11 回全日本学生エアロビック選手権大会」「第 2 回全日本高等学校エアロビック選手権大会」の開催

- ・ 学生エアロビックの祭典として、学生エアロビック選手権大会実行委員会と共催して第 11 回大会を開催した。

【期 日】 11 月 27 日 (日)
 【会 場】 日本工学院八王子専門学校 体育館 (東京都八王子市)
 【参加者】 大学 (大学院)、短大、専門学校 : 28 校、167 名 高校、高専 : 22 校、37 名

(5) 「第 7 回全国フライト選手権大会」の開催

- ・ 「スポーツエアロビック 2011」と全日本学生選手権大会のフライト部門上位者による第 7 回全国フライト選手権大会を兵庫県尼崎市で開催した。

【期 日】 12 月 25 日 (日)
 【会 場】 ベイコム総合体育館 (兵庫県尼崎市)
 【参加者】 342 名

(6) 「スポーツエアロビック 2011」の開催

- ・ エアロビックの総合的な大会として「スポーツエアロビック 2011」を全国 10 会場で開催した。また、各種全国大会の予選も兼ねて行った。
- ・ 東日本大震災の影響により 5 月上旬に予定していた宮城オープンが中止となり、代って山形県でフライトのみ東北オープンとして開催した。

埼玉オープン	5 月 21 日 (土) 競技ルーティン	さいたま市与野体育館	参加者 186 名
大阪オープン	6 月 11 日 (土) フライト	大阪市中央体育館サブアリーナ	参加者 352 名
東北オープン	6 月 26 日 (土) フライト	山形市 総合スポーツセンター	参加者 185 名
静岡オープン	6 月 25 日 (土) フライト	エコパアリーナ	参加者 305 名
	6 月 26 日 (日) 競技ルーティン	サブアリーナ	参加者 236 名
東京オープン	7 月 16 日 (土) フライト	東京体育館	参加者 372 名
	7 月 17 日 (日) 競技ルーティン	サブアリーナ	参加者 275 名
北海道オープン	7 月 30 日 (土) 同時開催	北翔大学 第 1 体育館アリーナ	参加者 348 名
宮崎オープン	8 月 27 日 (土) フライト	シーガイア コンベンションセンター	参加者 172 名
鳥取オープン	9 月 3 日 (土) 同時開催	三朝町役場 総合スポーツセンター	参加者 259 名
福岡オープン	12 月 4 日 (土) フライト	折尾スポーツセンター	参加者 312 名
	12 月 5 日 (日) 競技ルーティン		参加者 183 名
兵庫オープン	12 月 24 日 (土) 競技ルーティン	ベイコム総合体育館	参加者 199 名

【全国大会予選の内容】

- ①JOC ジュニアオリンピックカップ、シングル・トリオ部門予選
- ②全国フライト・エアロビック選手権大会予選
- ③全国ユースフライト・エアロビック選手権大会予選

【チームチャレンジ】

- ・北海道オープンでは、生涯エアロビック普及の観点からチームチャレンジを実施、19 チーム、126 名が参加。

(7) 「一般男女シングル部門第二次日本代表選手選考会／一般グループ部門日本代表選考会」

- ・スズキジャパンカップ 2011 の 2 位、3 位、スポーツエアロビック 2011 の各大会第 1 位選手による選考会とグループ部門の代表選考会を行った。

【期 日】 12 月 24 日(土)
 【会 場】 ベイコム総合体育館
 【出場者】 一般男子シングル 5 名、一般女子シングル 8 名
 一般グループ 3 組

(8) 「登録クラブ選手権大会」の開催

- ・競技エアロビック登録クラブの進展に伴いクラブの強化と活性化を目的に第 2 回大会を開催。

【期 日】 7 月 18 日(祝)
 【会 場】 東京体育館サブアリーナ
 【参加者】 189 名

II. エアロビックの国際競技大会等に対する代表参加者の派遣並びに選手強化活動

1. FIG World Cup Series への選手・審判員の派遣

- ・国際体操連盟(FIG)が主催する下記のワールドシリーズ大会への派遣を行った。

(1)ブルガリア大会

【期間】 2011 年 5 月 11 日～16 日(6 日間)
 【場所】 ブルガリア・ボロベツ
 【派遣数】 6 名(選手、審判)
 【成績】 一般男子シングル 4 位、8 位

(2)フランス大会

【期間】 2012 年 3 月 21 日～26 日(6 日間)
 【場所】 フランス・エクスレバン
 【派遣数】 6 名(選手、審判)
 【成績】 一般男子シングル 6 位、7 位
 ミックスペア 3 位
 トリオ 5 位

2. ユニバーシアード競技大会への選手団の派遣

- ・FISU(国際大学スポーツ連合)が主催する第 26 回ユニバーシアード競技大会への派遣を行った。

【期間】 8 月 17 日～24 日(8 日間)
 【開催地】 中国・深圳
 【派遣数】 10 名(選手、審判・役員)
 【成績】 エアロビックダンス 5 位
 トリオ 12 位
 ミックスペア 7 位

Ⅲ. エアロビックの講習会の開催及び指導者の育成

1. 公認エアロビック指導者養成事業の推進

(1) 専門科目の検定試験等の実施

- ・各承認校、認定校の公認エアロビック指導員の検定試験をビデオ審査により実施した

■承認校の公認エアロビック指導員・教師専門科目(検定試験)

北海道体育大学校	受検者	4名
札幌 YMCA 英語・スポーツ専門学校	受検者	1名
関東学園大学	受検者	2名
日本工学院八王子専門学校	受検者	4名
東京スポーツ・レクリエーション専門学校	受検者	12名
愛知学院大学	受検者	7名
至学館大学短期大学部	受検者	3名
大阪社会体育専門学校	受検者	1名

■認定校の公認エアロビック指導員専門科目(検定試験)

盛岡大学短期大学部	受検者	12名
園田学園女子大学	受検者	17名

2. JAF 認定エアロビック指導者養成事業の推進

(1) 「JAF National Camp 2011」の開催

- ・指導者養成に関する各種講習会・研修会を集中的に行う「JAF National Camp 2011」を開催した。

【期 間】	2月18日(火)～26日(日)	
【会 場】	国立オリンピック記念青少年総合センター	
【内 容】	指導専門委員中央研修会	受講者 47名
	TA 中央研修会(プログラムA)	受講者 55名
	TA 中央研修会(プログラムB)	受講者 86名
	審判員中央研修会(A B級)	受講者 48名
	審判員中央研修会(C級)	受講者 63名
	審判員昇級試験	受験者 12名
	技能検定員中央研修会	受講者 81名
	技能検定員新規養成講習会	受講者 5名
	技能検定員移行講習会	受講者 8名
	ジュニア技能検定員中央研修会	受講者 16名
	ジュニア技能検定員新規養成講習会	受講者 11名
	JAF エアロビックセミナー(プログラムA)	受講者 24名
	JAF エアロビックセミナー(プログラムB)	受講者 28名
	JAF エアロビックセミナー(プログラムC)	受講者 7名
	JAF エアロビックセミナー(プログラムD)	受講者 7名
	エアロビック技能検定会	受検者 9名
	JAF SUPER CAMP ミニA	受講者 38名
	JAF SUPER CAMP ミニB	受講者 18名
	JAF SUPER CAMP フライトA	受講者 58名
	JAF SUPER CAMP フライトB	受講者 64名
	JAF SUPER CAMP 競技ルーティンA	受講者 21名
	JAF SUPER CAMP 競技ルーティンB	受講者 35名

(2) 県連盟による「C級審判員養成講習会」の開催

東京会場	8月7日、21日、28日	東京都エアロビック連盟	受講者 8名
熊本会場	8月28日、9月23日	熊本県エアロビック連盟	受講者 4名
山梨会場	11月13日、20日、27日	山梨県エアロビック連盟	受講者 10名
茨城会場	12月3日～4日	静岡県エアロビック連盟	受講者 6名
山梨会場	12月23日※再試験	山梨県エアロビック連盟	受講者 3名

(3) 県連盟による「C級審判員資格更新研修会」の開催

熊本会場	8月28日	熊本県エアロビック連盟	受講者 14名
------	-------	-------------	---------

(4) 「キッズ・ジュニアエアロビック指導員養成講習会」の開催

東京会場	6月19日～20日	有明スポーツセンター	受講者 11名 (内試験のみ1名)
岩手会場	通年	修紅短期大学	受講者 63名
山梨会場	8月6日～8月7日	山梨学院短期大学	受講生 20名
東京会場	2月8日～9日	日本工学院八王子専門学校	受講生 29名

(5) 「アクアエアロビック指導員(Ⅱ種)養成講習会」の開催

兵庫会場	通年	園田学園女子大学	受講者 28名
------	----	----------	---------

3. 指導者資格更新に関するセミナーの推進

(1) 「JAF エアロビックセミナー」の開催

・JAF 認定ならびに公認指導者の資格更新を兼ねて JAF エアロビックセミナーを開催した。

東京会場	6月19日(日)	有明スポーツセンター	受講生 21名
静岡会場※	11月6日(日)	島田総合スポーツセンター	受講生 22名
富山会場※	12月4日(日)	富山体育文化センター	受講生 21名
福岡会場※	1月29日(日)	芦屋町総合体育館	受講生 21名
北海道会場※	3月25日(日)	サンシャインスポーツクラブ	受講生 6名

(※は道県連盟が主管して実施)

IV. 競技力向上に関する事業の推進

1. 「スーパーキャンプ」の開催

・競技力の底辺拡大と強化を目的とした競技エアロビックの「スーパーキャンプ」を全国4地区で開催した。

東京会場	11月26日(土)	日本ダンススポーツ連盟	参加者 98名
滋賀会場	12月17日(土)	滋賀県立体育館	参加者 61名
仙台会場	3月4日(土)	仙台市若林体育館	参加者 72名
福岡会場	3月17日(土)フライトコース	福岡市民体育館	参加者 52名
	3月18日(土)競技コース	福岡市立博多体育館	※参加者 34名

※は TA 資格更新研修会参加者を含む

2. 「チームジャパン練習会及び合宿」の開催

・スズキワールドカップ 2012 の出場選手が参加して「チームジャパン練習会・合宿」を行った。

(1) 練習会

【期 間】 2 月 19 日(日)～20 日(月)
【会 場】 国立オリンピック記念青少年総合センター
【参加者】 14 名 (一般 13 名、国際審判員 1 名)

(2) 合宿

【期 間】 3 月 27 日(火)～30 日(金)
【会 場】 蕨塚本町社会体育館
【参加者】 39 名 (一般 8 名、ユース 24 名、コーチ 5 名、国際審判員 1 名、役員 1 名)

3. 「AUG(アジアエアロビック連合)主催合同合宿」への派遣

【期 間】 11 月 23 日～28 日(6 日間)
【会 場】 釜山スポーツ高校・韓国
【参加者】 4 名 (選手 2 名、コーチ 2 名)

V. 専門委員会や関連団体との協調と連携

1. 競技力向上に関する研究と活動

- ・ルーマニアとの合同合宿、チームジャパン合宿等を通じて選手強化に関する研究をすすめるとともに、競技選手のためのスキルアップトレーニング DVD を制作した。
- ・ユースの育成を目的として、U-10 の規定ルーティンを作成し、Web を通して告知した。

2. 生涯エアロビックに関する研究と活動

- ・袋井エアロビック協議会と協力して「スローエアロビック」のプログラム開発や普及をすすめた。
- ・中学校体育のダンス授業の教材として「チーム・ダンスエアロビック」の制作と啓発をすすめた。
- ・技能検定プロジェクトを編成して、エアロビック技能検定の「エアロビック技能検定ガイド」の改訂と制作をすすめた。

3. アダプテッドエアロビックに関する研究と活動

- ・神奈川県エアロビック連盟と協力して、2012 年 2 月にアダプテッドエアロビックを全国普及する「全国アダプテッドエアロビック協議会」の設立準備をすすめた。

4. エアロビックフィットネス協議会(AFC)との連携

- ・エアロビックフィットネス界の発展を目的として 2000 年に設立。
2011 年度も(社)日本フィットネス協会、アフア・ジャパンの主要団体と協力連携して次の事業を行った。

- ①機関紙「AFC PRESS」の年 4 回の発行と編集協力
- ②東北地区指導者を対象に東日本大震災の復興支援助成事業を実施

VI. 広報活動の推進

1. NHK 定時番組等の制作協力

(1) 定時番組「ドゥ！エアロビック」の制作協力

- ・2003 年 10 月にスタートした全国各地の街や職場を紹介し、参加者と一緒にエアロビックを楽しむ公開収録による NHKBS プレミアムの定時番組「ドゥ！エアロビック」の制作協力を行った。
- ・8 月に、静岡県袋井市でスローエアロビックを楽しむ市民の収録を行った。
- ・8 月に、岩手県陸前高田市の避難所で市民や中学生と収録を行った。
- ・11 月に、スポレクエコとちぎ 2011 開場での番組収録を行った。

【放 送】 毎週月曜日、NHK BS プレミアム 午後 12:00～12:24 (24 分番組)

【内 容】 全国各地を訪問する公開収録形式
【出演者】 知念かおる、杉田欣也 他

2. JAF 会員誌『スマイル』の発行

・本連盟会員のための情報誌として 1998 年 7 月に創刊。本年も年 4 回発行した。

52 号	4 月 1 日発行	各 5,000 部発行
53 号	7 月 1 日発行	
54 号	10 月 1 日発行	
55 号	1 月 1 日発行	

VII. その他法人の目的を達成するために必要な事業

1. JAF 表彰の授賞式の開催

・2011 年度 JAF 表彰は 3 選手 1 団体の授賞となり、その授賞式を行った。

【授賞式】 平成 24 年 2 月 25 日（土）
【会場】 国立オリンピック記念青少年総合センター
【表彰内容】 ◆栄光賞
武内麻美、諏訪部和也、中澤彩子の 3 選手
◆表彰状
東北エアロビック協議会の 1 団体

2. 都道府県連盟の加盟状況

・2011 年度の都道府県連盟の加盟状況は、次の通りとなった。

【正加盟】	31 都府県	（会費未納 2 件）
【準加盟】	3 県	栃木、茨城、山口
【設立準備委員会】	6 県	新潟、愛媛、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

※未組織は 7 府県（京都、奈良、和歌山、徳島、高知、島根、佐賀）

3. 賛助会員（法人・個人・サークル）の推進

・2011 年度の、賛助会員数の状況は、次の通りとなった。

【法人賛助会員】	72 口	（企業 18、学校 10、登録クラブ 44）
【個人賛助会員】	1,898 人	

4. 選手登録の推進

・2011 年度の選手登録状況は、次の通りとなった。

【選手登録数】	2,420 人	（毎年更新）
---------	---------	--------

5. 競技登録クラブの推進

・2011 年度は募集休止のため、前年(22 年度)同様の実績となった。

【競技登録クラブ】	44 クラブ	※法人賛助会員に記載
-----------	--------	------------

以上

Ⅱ. 決算報告

貸借対照表
平成 24年 3月 31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	65,491,652	68,343,779	-2,852,127
受取手形	525,000	-	525,000
売掛金	546,000	537,600	8,400
未収入金	1,168,440	337,268	831,172
商品	1,589,970	884,384	705,586
貯蔵品	1,704,765	1,625,011	79,754
前払費用	2,645,083	3,509,060	-863,977
立替金	66,585	-	66,585
流動資産合計	73,737,495	75,237,102	-1,499,607
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	20,000,000	20,000,000	-
基本財産合計	20,000,000	20,000,000	-
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	6,716,017	7,314,176	-598,159
大会運営積立資産	123,022,785	105,000,000	18,022,785
特定資産合計	129,738,802	112,314,176	17,424,626
(3) その他固定資産			
建物附属設備	2	4,489	-4,487
什器備品	1,397,561	4,173,507	-2,775,946
電話加入権	291,200	291,200	-
ソフトウェア	1,409,168	2,501,668	-1,092,500
ソフトウェア仮勘定	3,000,000	-	3,000,000
保証金	2,667,600	2,667,600	-
その他固定資産合計	8,765,531	9,638,464	-872,933
固定資産合計	158,504,333	141,952,640	16,551,693
資産合計	232,241,828	217,189,742	15,052,086
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	8,288,530	4,335,279	3,953,251
未払費用	3,924,306	2,570,129	1,354,177
前受金	2,718,000	3,429,500	-711,500
預り金	1,849,450	1,837,550	11,900
未払法人税等	1,000,000	70,000	930,000
未払消費税等	1,181,600	131,100	1,050,500
流動負債合計	18,961,886	12,373,558	6,588,328
2. 固定負債			
退職給付引当金	7,599,798	8,788,451	-1,188,653
固定負債合計	7,599,798	8,788,451	-1,188,653
負債合計	26,561,684	21,162,009	5,399,675
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	20,000,000	20,000,000	-
指定正味財産合計	20,000,000	20,000,000	-
(うち基本財産への充当額)	(20,000,000)	(20,000,000)	(-)
2. 一般正味財産	185,680,144	176,027,733	9,652,411
(うち特定資産への充当額)	(123,022,785)	(105,000,000)	(18,022,785)
正味財産合計	205,680,144	196,027,733	9,652,411
負債及び正味財産合計	232,241,828	217,189,742	15,052,086

正味財産増減計算書

平成 23年 4月 1日から平成 24年 3月 31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	8,000	20,000	-12,000
基本財産受取利息	8,000	20,000	-12,000
② 特定資産運用益	44,428	47,521	-3,093
特定資産受取利息	44,428	47,521	-3,093
③ 受取会費	15,294,700	16,490,839	-1,196,139
正会員受取会費	3,600,000	2,800,000	800,000
賛助会員受取会費	11,694,700	10,441,800	1,252,900
登録クラブ受取会費	-	2,400,000	-2,400,000
国際加盟費受取会費	-	849,039	-849,039
④ 事業収益	208,288,893	234,534,322	-26,245,429
競技会事業収益	149,327,778	165,096,315	-15,768,537
認定登録事業収益	9,169,919	12,292,802	-3,122,883
講習会等事業収益	46,195,818	53,279,550	-7,083,732
商品売上事業収益	3,595,378	3,865,655	-270,277
⑤ 受取補助金等	3,631,469	2,864,000	767,469
受取民間助成金	3,631,469	2,864,000	767,469
⑥ 雑収益	1,078,416	797,801	280,615
受取利息	29,613	43,582	-13,969
雑収益	1,048,803	754,219	294,584
経常収益計	228,345,906	254,754,483	-26,408,577
(2) 経常費用			
① 事業費			
期首商品棚卸高	884,384	989,250	-104,866
商品仕入高	1,857,811	870,808	987,003
期末商品棚卸高	-1,613,592	-1,037,530	-576,062
普及・指導	-	23,456,891	-23,456,891
競技会	-	86,688,615	-86,688,615
講習会・指導者育成	-	6,458,117	-6,458,117
給料手当	56,927,210	48,765,820	8,161,390
退職給付費用	2,142,937	4,602,211	-2,459,274
法定福利費	7,879,394	7,349,794	529,600
福利厚生費	119,034	127,036	-8,002
臨時雇賃金	12,840,152	-	12,840,152
外注費	64,098,810	-	64,098,810
表彰費	2,020,000	-	2,020,000
接待交際費	945,168	146,430	798,738
会議費	194,975	5,055	189,920
旅費交通費	13,467,806	2,362,527	11,105,279
出張手当	3,235,811	13,335	3,222,476
通信運搬費	2,971,514	1,264,492	1,707,022
減価償却費	4,369,961	-	4,369,961
消耗品費	6,021,977	3,027,131	2,994,846
賃借料	9,086,339	515,321	8,571,018
事務所賃借料	6,525,556	5,738,594	786,962
保険料	528,386	276,404	251,982
租税公課	635,775	9,000	626,775
支払寄付金	97,300	-	97,300
雑費	8,829,322	2,653,606	6,175,716
事業費計	204,066,030	194,282,907	9,783,123

正味財産増減計算書

平成 23年 4月 1日から平成 24年 3月 31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
② 管理費			
給料手当	5,644,064	16,800,000	-11,155,936
退職給付費用	214,058	1,400,000	-1,185,942
法定福利費	769,777	2,116,392	-1,346,615
福利厚生費	84,630	62,705	21,925
接待交際費	236,258	405,911	-169,653
会議費	50,050	94,040	-43,990
旅費交通費	766,643	1,265,981	-499,338
出張手当	78,501	32,859	45,642
通信運搬費	528,069	354,270	173,799
減価償却費	72,972	4,239,557	-4,166,585
消耗品費	508,957	401,712	107,245
修繕費	-	12,267	-12,267
賃借料	180,999	254,694	-73,695
事務所賃借料	637,514	1,480,711	-843,197
保険料	48,908	32,620	16,288
租税公課	73,600	495,165	-421,565
支払寄付金	-	1,727,000	-1,727,000
雑費	3,632,623	9,335,798	-5,703,175
管理費計	13,527,623	40,511,682	-26,984,059
経常費用計	217,593,653	234,794,589	-17,200,936
当期経常増減額	10,752,253	19,959,894	-9,207,641
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 什器備品売却益	-	22,542	-22,542
経常外収益計	-	22,542	-22,542
(2) 経常外費用			
① 什器備品除却損	-	108,919	-108,919
② 棚卸商品減耗損	99,842	153,146	-53,304
経常外費用計	99,842	262,065	-162,223
当期経常外増減額	-99,842	-239,523	139,681
税引前当期一般正味財産増減額	10,652,411	19,720,371	-9,067,960
法人税等	1,000,000	70,000	930,000
当期一般正味財産増減額	9,652,411	19,650,371	-9,997,960
一般正味財産期首残高	176,027,733	156,377,362	19,650,371
一般正味財産期末残高	185,680,144	176,027,733	9,652,411
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	-	-	-
指定正味財産期首残高	20,000,000	20,000,000	-
指定正味財産期末残高	20,000,000	20,000,000	-
III 正味財産期末残高	205,680,144	196,027,733	9,652,411

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
 - ①満期保有目的の債権・・・償却原価法(定額法)によっている。
 - ②その他の有価証券
 - ・時価のあるもの・・・期末日の市場価格等に基づく時価法(売却原価は移動平均法により算定)によっている。
 - ・時価のないもの・・・移動平均法による原価法によっている。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
先入先出法に基づく原価法
- (3) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産 …… 定率法
無形固定資産 …… 定額法
- (4) 引当金の計上基準
退職給付引当金 …… 職員の退職給付に備えるため、退職金規定に基づく期末要支給額を計上している。
- (5) リース取引の処理方法
リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。
- (6) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税抜方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定 期 預 金	20,000,000	-	-	20,000,000
小 計	20,000,000	-	-	20,000,000
特定資産				
退 職 給 付 引 当 資 産	7,314,176	1,801,841	2,400,000	6,716,017
大 会 運 営 積 立 資 産	105,000,000	68,035,332	50,012,547	123,022,785
小 計	112,314,176	69,837,173	52,412,547	129,738,802
合 計	132,314,176	69,837,173	52,412,547	149,738,802

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する金額)
基本財産				
定 期 預 金	20,000,000	(20,000,000)	(-)	(-)
小 計	20,000,000	(20,000,000)	(-)	(-)
特定資産				
退 職 給 付 引 当 資 産	6,716,017	(-)	(-)	(6,716,017)
大 会 運 営 特 定 資 産	123,022,785	(-)	(123,022,785)	(-)
小 計	129,738,802	(-)	(123,022,785)	(6,716,017)
合 計	149,738,802	(20,000,000)	(123,022,785)	(6,716,017)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取 得 価 額	減価償却累計額	当 期 末 残 高
建 物 附 属 設 備	448,532	448,530	2
什 器 備 品	15,742,800	14,345,239	1,397,561
ソ フ ト ウ ェ ア	5,908,600	4,499,432	1,409,168
合 計	22,099,932	19,293,201	2,806,731

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

銘 柄	帳簿価額	時 価	評価損益
三菱UFJ中期国債ファンド [*]	30,019,055	30,019,055	-
第293回利付国債	20,003,653	20,003,600	-53
三菱UFJキャッシュファンド [*]	18,000,077	18,000,077	-
合 計	68,022,785	68,022,732	-53

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
助成金					
スポーツ振興基金助成金	独立行政法人日本スポーツ振興センター	-	1,248,000	1,248,000	-
スポーツ学等研究助成金	公益財団法人ミスノスポーツ振興財団	-	1,000,000	1,000,000	-
浜松市制100周年記念事業	浜松市	-	1,000,000	1,000,000	-
委託金					
公認スポーツ指導者講師競技別全国研修会委託金	公益財団法人日本体育協会	-	383,469	383,469	-
合 計		-	3,631,469	3,631,469	-

7. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

属 性	法人等の名称	住 所	資産総額(円)	事業の内容又は職業	議決権の所有の割合
理事が議決権の過半数を所有している会社	(株)エフネット総合研究所	神奈川県川崎市麻生区岡上410-3-416	5,299,161	スポーツ施設等の企画・開発	-

関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(円)	科 目	期末残高(円)
役員の兼務	組織・広報部事業に関する統括・管理業務等の委託(注)	6,000,000	-	-

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注)独立第三者間取引と同様の一般的な取引条件で行っている。

財 産 目 録
平成 24年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目		金 額		
Ⅰ. 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金				
現金	現金手許有高	2,886,987		
普通預金	みずほ銀行 祐天寺支店	62,187,396		
	三菱東京UFJ銀行 大井支店	199,000		
郵便振替	ゆうちょ銀行 品川支店	218,269		
受取手形		525,000		
売掛金	指導教本他	546,000		
未収入金	平成23年度競技会協賛金他	1,168,440		
商 品	新エアロビック技能検定セット@737.10*428枚 指導教本@1,195.95*220冊 キティTシャツ@1,646*97枚 採点規則2009-2012@1,428*71冊 Jr技術教程DVD@553.35*215枚 Jr技術教程ガイド@460.25*218冊 キッズJr指導ガイド@644*159冊 キッズJr指導DVD@300*185枚 スポーツエアロビック規程曲集@770*93枚 スキルアップDVD@1,076*52枚 技術教程DVD@254.10*215枚 技術教程ガイド@271.25*199冊 技能検定会CD@2,205*16枚 競技ルーティン採点事例セット@600*50冊 技Tシャツ@1,266*23枚 メタボリック対策DVD@2,450*8枚 JAFエンブレム@6,300*2枚 審判員試験問題集回答@280*37冊	1,589,970		
貯 蔵 品	スポーツタオル 739,830 検定バッチ 700,211 日本代表ピンバッチ 122,830 会員カード 108,324 切手類 33,570	1,704,765		
前 払 費 用	平成24年度諸経費	2,645,083		
立 替 金	FIGライセンス料	66,585		
	流 動 資 産 合 計		73,737,495	
2. 固定資産				
(1)基本財産				
定期預金	三菱東京UFJ銀行 大井支店	20,000,000		
	基 本 財 産 合 計	20,000,000		
(2)特定資産				
退職給付引当資産	定期積金 みずほ銀行 祐天寺支店	5,516,017		
	定期預金 三菱東京UFJ銀行 大井支店	1,200,000		
大会運営積立資産	定期預金 みずほ銀行 祐天寺支店	35,000,000		
	定期預金 三菱東京UFJ銀行 大井支店	20,000,000		
	三菱UFJ中期国債ファンド 三菱UFJモルガン・スタンレー証券㈱	30,019,055		
	第293回利付国債 三菱UFJモルガン・スタンレー証券㈱	20,003,653		
	三菱UFJキャッシュファンド 三菱UFJモルガン・スタンレー証券㈱	18,000,077		
	特 定 資 産 合 計	129,738,802		
(3)その他の固定資産				
建物付属設備	可動間仕切り エフエム総研 1 ハンテック 1	2		
什 器 備 品	エアロビックフロアH22年度 595,344 H16年度 180,003 フローハネル収納台車 530,433 セントバック 54,387 パソコンサーバー 34,792 パソコン 2,602	1,397,561		
電 話 加 入 権	03-5796-7521他	291,200		
ソ フ ト ウ ェ ア	集計システムH20年度 517,500 H22年度 478,334 選手登録システム 183,334 W/Cエントリー管理システム 230,000	1,409,168		
ソフトウェア仮勘定	会員管理システム	3,000,000		
保 証 金	市川庄次(事務所) 2,667,600	2,667,600		
	その他の固定資産合計	8,765,531		
	固 定 資 産 合 計		158,504,333	
	資 産 合 計			232,241,828
Ⅱ. 負債の部				
1. 流動負債				
未 払 金	事業経費他	8,288,530		
未 払 費 用	従業員給与・社会保険料他	3,924,306		
前 受 金	24年度協賛金他	2,718,000		
預 り 金	社会保険料、源泉所得税他	1,849,450		
未 払 法 人 税 等		1,000,000		
未 払 消 費 税 等		1,181,600		
	流 動 負 債 合 計		18,961,886	
2. 固定負債				
退職給付引当金		7,599,798		
	固 定 負 債 合 計		7,599,798	
	負 債 合 計			26,561,684
	正 味 財 産			205,680,144

収 支 計 算 書

自 平成 23 年 4 月 1 日 至 平成 24 年 3 月 31 日

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 基本財産運用収入	8,000	8,000	-	
基本財産利息収入	8,000	8,000	-	
② 特定資産運用収入	45,000	44,428	572	
特定資産利息収入	45,000	44,428	572	
③ 会費収入	15,490,000	15,294,700	195,300	
正会員会費収入	3,600,000	3,600,000	-	
賛助会員会費収入	11,890,000	11,694,700	195,300	
④ 事業収入	206,419,000	208,288,893	-1,869,893	
競技会収入	148,990,000	149,327,778	-337,778	
認定・登録料収入	10,210,000	9,169,919	1,040,081	資格登録・更新者の減
講習会等収入	44,469,000	46,195,818	-1,726,818	講習会受講者の増
商品売上収入	2,750,000	3,595,378	-845,378	
⑤ 補助金等収入	3,848,000	3,631,469	216,531	
民間助成金収入	3,848,000	3,631,469	216,531	
⑥ 雑収入	1,009,000	1,078,416	-69,416	
受取利息	39,000	29,613	9,387	
雑収入	970,000	1,048,803	-78,803	
事業活動収入計	226,819,000	228,345,906	-1,526,906	
2. 事業活動支出				
① 事業費支出	196,779,000	199,407,284	-2,628,284	
商品仕入高支出	1,113,000	1,857,811	-744,811	
給料手当支出	56,912,000	56,927,210	-15,210	
退職給付費用支出	823,000	823,346	-346	
法定福利費支出	7,930,000	7,879,394	50,606	
福利厚生費支出	139,000	119,034	19,966	
臨時雇賃金支出	12,071,000	12,840,152	-769,152	
外注費支出	64,327,000	64,098,810	228,190	
表彰費支出	2,020,000	2,020,000	-	
接待交際費支出	552,000	945,168	-393,168	
会議費支出	301,000	194,975	106,025	
旅費交通費支出	14,178,000	13,467,806	710,194	
出張手当支出	2,958,000	3,235,811	-277,811	
通信運搬費支出	3,232,000	2,971,514	260,486	
消耗品費支出	4,937,000	6,323,575	-1,386,575	事業用備品の増
賃借料支出	9,059,000	9,086,339	-27,339	
事務所賃借料支出	6,515,000	6,525,556	-10,556	
保険料支出	524,000	528,386	-4,386	
租税公課支出	590,000	635,775	-45,775	
支払寄付金支出	97,000	97,300	-300	
雑費支出	8,501,000	8,829,322	-328,322	
② 管理費支出	15,583,000	15,817,271	-234,271	
給料手当支出	5,659,000	5,644,064	14,936	
退職給付費用支出	2,723,000	2,722,302	698	
法定福利費支出	779,000	769,777	9,223	
福利厚生費支出	24,000	84,630	-60,630	
接待交際費支出	92,000	236,258	-144,258	
会議費支出	42,000	50,050	-8,050	
旅費交通費支出	677,000	766,643	-89,643	
出張手当支出	89,000	78,501	10,499	
通信運搬費支出	551,000	511,629	39,371	
消耗品費支出	574,000	366,073	207,927	
賃借料支出	179,000	180,999	-1,999	
事務所賃借料支出	638,000	637,514	486	
保険料支出	49,000	48,908	92	
租税公課支出	72,000	73,600	-1,600	
雑費支出	3,435,000	3,646,323	-211,323	
③ その他事業活動支出	3,350,000	1,000,000	2,350,000	
法人税等支出	3,350,000	1,000,000	2,350,000	
事業活動支出計	215,712,000	216,224,555	-512,555	
事業活動収支差額	11,107,000	12,121,351	-1,014,351	

収 支 計 算 書

自 平成 23 年 4 月 1 日 至 平成 24 年 3 月 31 日

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
Ⅱ 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
① 特定資産取崩収入	52,400,000	52,412,547	-12,547	
退職給付引当資産取崩収入	2,400,000	2,400,000	-	
大会運営積立資産取崩収入	50,000,000	50,012,547	-12,547	
投資活動収入計	52,400,000	52,412,547	-12,547	
2. 投資活動支出				
① 特定資産取得支出	61,831,000	69,837,173	-8,006,173	
退職給付引当資産取得支出	1,802,000	1,801,841	159	
大会運営積立資産取得支出	60,029,000	68,035,332	-8,006,332	大会運営積立金の増
② 固定資産取得支出	4,175,000	3,570,000	605,000	
什器備品取得支出	600,000	570,000	30,000	
ソフトウェア仮勘定取得支出	3,325,000	3,000,000	325,000	
繰延資産取得支出	250,000	-	250,000	
投資活動支出計	66,006,000	73,407,173	-7,401,173	
投資活動収支差額	-13,606,000	-20,994,626	7,388,626	
Ⅲ 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	-	-	-	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	-	-	-	
財務活動収支差額	-	-	-	
Ⅳ 予備費支出				
当期収支差額	-2,499,000	-8,873,275	6,374,275	
前期繰越収支差額	60,354,000	60,354,149	-149	
次期繰越収支差額	57,855,000	51,480,874	6,374,126	

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金及び短期金銭債権債務が含まれる。
なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位:円)

科 目	前 期 末 残 高	当 期 末 残 高
現 金 預 金	68,343,779	65,491,652
受 取 手 形	-	525,000
売 掛 金	537,600	546,000
未 収 入 金	337,268	1,168,440
前 払 費 用	3,509,060	2,645,083
立 替 金	-	66,585
合 計	72,727,707	70,442,760
未 払 金	4,335,279	8,288,530
未 払 費 用	2,570,129	3,924,306
前 受 金	3,429,500	2,718,000
預 り 金	1,837,550	1,849,450
未 払 法 人 税 等	70,000	1,000,000
未 払 消 費 税 等	131,100	1,181,600
合 計	12,373,558	18,961,886
次 期 繰 越 収 支 差 額	60,354,149	51,480,874

Ⅲ. 監査報告書

監査報告書

社団法人 日本エアロビック連盟

理事長 知念 かおる 殿

平成24年5月22日

社団法人 日本エアロビック連盟

監事 中村 邦夫



社団法人 日本エアロビック連盟

監事 今村 敬



私たちは、平成23年4月1日から平成24年3月31日までの会計年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決算書類を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について、検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及び財産目録の監査結果

計算書類及び財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において、適正に示しているものと認めます。

平成24年度 事業・決算報告書

平成24年 4月 1日から
平成25年 3月31日まで

I. 事業報告

II. 決算報告

1. 貸借対照表
2. 貸借対照表内訳表
3. 正味財産増減計算書
4. 正味財産増減計算書内訳表
5. 財務諸表に対する注記
6. 附属明細書
7. 財産目録

III. 監査報告書

公益社団法人日本エアロビック連盟

I．事業報告

平成 24 年度(2012)の事業報告

I. エアロビクの普及・振興に関する事業

1. 生涯エアロビク事業の推進

(1) スポーツ拠点づくり推進事業(袋井事業)

- 平成 17 年(2005 年)に袋井市でスタートしたスポーツ拠点づくり推進事業は 8 年目を迎えた。中核事業の「JOC ジュニアオリンピックカップ」開催の他、地域活性化を目的に袋井市と袋井市商工会議所等の協力、凸版印刷(株)等の支援を得て市民を対象に各種エアロビク普及事業の支援をすすめた。
- これらの事業推進は、エアロビク指導者組織の「袋井エアロビク協議会」が務めた。また、今後、これらの事業を効果的にすすめるために袋井市エアロビク連盟を設立し、袋井市スポーツ協会に加盟した。

【主な事業実績】

- 子ども達の体験エアロビクに延べ 5,700 名が体験した。
- 市内の中学校、4 校中 3 校でダンス授業に取り組んだ。
- 市内の 7 幼稚園 5 小学校で、放課後の児童クラブや体育授業にエアロビク取り入れた。
- スローエアロビク等の講師派遣実績が 147 回となった。
- 市内からも JOC 大会へ出場する選手が出てきた。
- 市内及び近隣在住選手向けに初のスポーツクリニックを開催した。
- JOC カップ全国大会で 130 名の市民デモ、143 名の浅羽東小のデモを行った。

(2) 「みんなでエアロビク第 5 回全国ビデオコンクール」の開催

- 凸版印刷(株)の支援を得て「みんなでエアロビク第 5 回全国ビデオコンクール」を開催した。

【後 援】	文部科学省、袋井市、日本体育協会 他
【期 間】	9 月～11 月
【応募数】	91 チーム(参加者 3,870 名)
【表 彰】	グランプリ(最優秀賞)5 部門 5 チーム、優秀作品賞 5 部門 5 チーム、入選 4 部門 6 チーム、審査員特別賞 5 チームを表彰

(3) 「エアロビク技能検定会」の開催とガイドの改訂

- 日頃の教室やレッスンにおいて技術向上の目安やモチベーションを目的としたエアロビク技能検定会を、都道府県連盟および関係団体と協力して年間を通して実施した。
- エアロビク検定の改訂に伴い、9 月までは主管団体が第 2 版か第 3 版のどちらかを選択、10 月以降は第 3 版に切り替えて実施した。

①2012 年度 第 2 版エアロビク検定実績(人)

級	受検者	合格者	登録者
10	10	10	10
9	13	13	13
8	17	17	17
7	10	7	7
6	122	109	109
5	215	72	71
4	16	8	8
3	16	9	9
2	6	3	3
1	9	5	5
合 計	434	253	253

②2012 年度 第 3 版エアロビック検定実績(人)

級	受検者	合格者	登録者
5	177	177	177
4	239	206	206
3	138	125	123
2	48	47	47
1	8	6	6
特	10	3	3
合計	620	564	562

③2012 年度ジュニア検定実績(人)

級	受検者	合格者	登録者
5	440	433	398
4	407	332	297
3	316	235	214
2	274	139	139
1	156	88	88
合計	1,593	1,227	1,136

【通算受検者数】 37,454 人

【通算登録者数】 26,278 人

(4)「アダプテッドエアロビック」の普及および協力

①「アダプテッドエアロビック・ナショナルフェスタよこはま 2013」の共催

- ・障害者と健常者が一緒になってエアロビックを楽しむ「アダプテッドエアロビック・ナショナルフェスタよこはま 2013」を神奈川県エアロビック連盟と共催で行った。

【主 催】	神奈川県エアロビック連盟(共催)
【後 援】	神奈川県、日本体育協会、日本身体障害者スポーツ協会他
【期 日】	12 月 9 日(日)、シンポジウム 3 月 3 日(日)、エアロビック大会
【会 場】	横浜ラポール
【参加者】	シンポジウム 50 名、エアロビック大会 650 名

②ナイスハート基金の催事協力と指導者派遣

- ・(公財) ナイスハート基金が主催する障害者と健常者がスポーツを通じて交流する「ふれあいのスポーツ広場」への協力と指導者派遣を次の通り行った。

群馬大会	5 月 12 日(土)	群馬県勤労福祉センター	参加者 312 名
山口大会	5 月 13 日(日)	ソルトアリーナ防府	参加者 469 名
岐阜大会	6 月 6 日(水)	わかくさプラザ	参加者 330 名
愛媛大会	6 月 13 日(水)	ツインドーム重信	参加者 206 名
青森大会	6 月 25 日(月)	新青森総合運動公園マエダアリーナ	参加者 385 名
滋賀大会	9 月 29 日(土)	竜王町ドラゴンスポーツ	参加者 329 名
佐賀大会	10 月 29 日(月)	佐賀県体育館	参加者 350 名
島根大会	11 月 5 日(月)	松江市総合体育館	参加者 430 名
大阪大会	11 月 21 日(水)	大阪府立体育館	参加者 416 名
沖縄大会	3 月 6 日(水)	宜野湾市立体育館	参加者 427 名

(5)糖尿病の運動療法を楽しく行う啓発イベントの協力

- ・日本イーライリリー社の社会貢献活動として、糖尿病の運動療法を楽しく行う啓発イベントを下

記の3会場で協力して行った。

福井会場	10月14日(日)	アオッサ6Fレクリエーションルーム	参加者 45名
東京会場	10月27日(土)	新宿住友ホール	参加者 63名
京都会場	11月24日(土)	国立京都国際会館イベントホール	参加者 71名

2. 競技エアロビック事業の推進

(1) 「スズキワールドカップ 2012 第23回世界エアロビック選手権大会」の開催

- ・「SUZUKI WORLD CUP 2012第23回世界エアロビック選手権大会」は「FIG ワールドシリーズ東京国際」を併設して、国際エアロビック連盟(IAF)、国際体操連盟(FIG)と共同開催した。

【期 日】	予選4月21日(土)、決勝4月22日(日)
【会 場】	東京体育館
【参 加】	18ヶ国、164名
【成 績】	・AG1 女子シングル 優勝、準優勝 ・AG2 女子シングル 優勝、準優勝 ・AG2 男子シングル 優勝、5位 ・AG2 トリオ 優勝、準優勝 ・一般男子シングル 8位、 ・一般女子シングル 5位、 ・ミックスペア 6位、8位 ・トリオ 7位
【放 送】	NHK BS-1 4月28日(土) 18:00～18:50

(2) 「スズキジャパンカップ 2012 第29回全日本エアロビック選手権大会」の開催

- ・国内の競技エアロビックの日本一を競うスズキジャパンカップ・全日本エアロビック選手権大会は第29回大会を迎え、次の通り都道府県大会、地区大会、全国大会を開催した。
なお、今回は全国大会の会場を関西初として尼崎市で行った。

<都道府県大会>

- ・4月～7月の期間に全国都道府県において各都道府県大会を実施した。

<地区大会>

東日本地区大会	9月9日(日)	日本工学院八王子専門学校総合体育館	出場者 189名
東北地区大会	9月16日(日)	仙台市泉総合運動場体育館	出場者 48名
九州地区大会	9月29日(土)	福岡市九電記念体育館	出場者 93名
北海道地区大会	9月30日(日)	北翔大学第1体育館アリーナ	出場者 64名
中部地区大会	10月20日(土)	中村スポーツセンター	出場者 205名
西日本地区大会	12月22日(土)	ベイコム総合体育館	出場者 128名

<全国大会>

【期 日】	12月23日(日)
【会 場】	ベイコム総合体育館(兵庫県尼崎市)
【出場者】	179名
【放 送】	NHKBS-1 12月30日(日) 17:00～18:49

(3) 「JOC ジュニアオリンピックカップ・全国エアロビック選手権大会 in 袋井 2013」の開催

- ・ユースの頂点を競う「JOC ジュニアオリンピックカップ全国エアロビック選手権大会」は、静岡県袋井市と共催して第8回大会を開催した。
- ・本大会は総務省・文部科学省の「スポーツ拠点づくり推進事業」として開催することから、袋井市をはじめ袋井市内の関係団体と実行委員会を組織して、開催準備と運営等をすすめた。

<予選大会>

- ・シングル、トリオ部門の予選を「スポーツエアロビック 2012」において行った。
- ・チーム部門及び AG1 男子シングル部門の予選を「JOC ジュニアオリンピックカップ・チーム部門・AG1 男子シングル部門予選」として前日に行った。

【期 日】	1 月 19 日 (土)
【会 場】	エコパアリーナ サブアリーナ
【参加者】	チーム 14 チーム、112 名 / AG1 男子シングル 12 名

<全国大会>

【期 日】	1 月 20 日 (日)
【会 場】	エコパアリーナ メインアリーナ
【参加者】	308 名

(4)「第 12 回全日本学生エアロビック選手権大会」「第 3 回全日本高等学校エアロビック選手権大会」の開催

- ・学生エアロビックの祭典として、学生エアロビック選手権大会実行委員会と共催して第 12 回大会を開催した。

【期 日】	11 月 18 日 (日)
【会 場】	玉川大学大体育館(東京都町田市)
【参加者】	大学、短大、専門学校、高専：28 校、153 名 高校：26 校、28 名

(5)「第 8 回全国フライト選手権大会」の開催

- ・「スポーツエアロビック 2012」フライト部門上位者による第 8 回全国フライト選手権大会を東京都町田市で開催した。

【期 日】	3 月 9 日 (土)
【会 場】	町田市立総合体育館(東京都町田市)
【参加者】	349 名

(6)「スポーツエアロビック 2012」の開催

- ・エアロビックの総合的な大会として「スポーツエアロビック 2012」を全国 10 会場で開催した。また、各種全国大会の予選も兼ねて行った。

宮城オープン	5 月 5 日 (祝) フライト	仙台市泉総合運動場体育館	参加者 179 名
	5 月 6 日 (日) 競技ルーティン		参加者 88 名
静岡オープン	5 月 26 日 (土) フライト	袋井市民体育館	参加者 240 名
	5 月 27 日 (日) 競技ルーティン		参加者 170 名
埼玉オープン	6 月 2 日 (土) 競技ルーティン	さいたま市記念総合体育館	参加者 149 名
	6 月 3 日 (日) フライト		参加者 180 名
大阪オープン	6 月 23 日 (土) フライト	ひまわりドーム	参加者 345 名
東京オープン	7 月 21 日 (土) 競技ルーティン	新宿スポーツセンター	参加者 294 名
北海道オープン	7 月 28 日 (土) フライト	北翔大学第 1 体育館アリーナ	参加者 193 名
	7 月 29 日 (日) 競技ルーティン		参加者 240 名
東京オープン	8 月 4 日 (土) フライト	新宿スポーツセンター	参加者 481 名
大阪オープン	9 月 1 日 (土) 競技ルーティン	大阪市中央体育館サブアリーナ	参加者 258 名
鳥取オープン	11 月 3 日 (土) フライト	三朝町役場総合体育館	参加者 286 名
	11 月 4 日 (日) 競技ルーティン		参加者 180 名
福岡オープン	11 月 24 日 (土) フライト	福岡市九電記念体育館	参加者 287 名
	11 月 25 日 (日) 競技ルーティン		参加者 165 名

【全国大会予選の内容】

- ①JOC ジュニアオリンピックカップ、シングル・トリオ部門予選
- ②全国フライト・エアロビック選手権大会予選
- ③全国ユースフライト・エアロビック選手権大会予選

【チームチャレンジ】

- ・北海道オープンでは、生涯エアロビック普及の観点からチームチャレンジを実施、19 チーム、151 名が参加。

(7) 「一般男女シングル部門第二次日本代表選手選考会／一般グループ部門日本代表選考会」

- ・スズキジャパンカップ 2012 の 2 位、3 位、スポーツエアロビック 2012 の各大会第 1 位選手による選考会とグループ部門の代表選考会を行った。

【期 日】	12 月 24 日(祝月)
【会 場】	兵庫県立文化体育館多目的ホール
【出場者】	一般男子シングル 6 名、一般女子シングル 9 名 一般グループ 2 組

(8) 「登録クラブ選手権大会」の開催

- ・競技エアロビック登録クラブの進展に伴いクラブの強化と活性化を目的に第 3 回大会を開催。

【期 日】	7 月 22 日(日)
【会 場】	新宿スポーツセンター
【参加者】	197 名

Ⅱ. エアロビックの国際競技大会等に対する代表参加者の派遣並びに選手強化活動

1. アジア選手権大会への選手団の派遣

- ・AGU(アジア体操連合)が主催する第 3 回アジア選手権大会への派遣を行った。

【期 間】	10 月 17 日～21 日(5 日間)
【開催地】	インドネシア・パレンバン
【派遣数】	17 名(選手、審判・役員)
【成 績】	・AG1 女子シングル 優勝、準優勝 ・AG1 男子シングル 優勝、準優勝 ・AG1 トリオ 優勝、準優勝 ・女子シングル 準優勝、3 位 ・男子シングル 6 位

2. 選手強化合宿(夏合宿)の開催

- ・ルーマニア体操協会からコーチ、アシスタント 2 名を招聘し、全日本の強化選手を中心に強化合宿を行った。

【期 間】	8 月 6 日～10 日(5 日間)
【開催地】	群馬県太田市、太田スポーツアカデミー
【参加者】	指定強化選手、コーチ 46 名
【指 導】	マリア・フメア(ナショナルコーチ)
	マリア・ピアンカ(アシスタントコーチ)

Ⅲ. エアロビックスの講習会の開催及び指導者の育成

1. 公認エアロビックス指導者養成事業の推進

(1) 専門科目の検定試験等の実施

- ・各承認校、認定校の公認エアロビックス指導員の検定試験をビデオ審査により実施した。

■承認校の公認エアロビックス指導員・教師専門科目（検定試験）

北翔大学	受検者 3名
北翔短期大学	受検者 3名
専門学校北海道体育大学校	受検者 3名
愛知学院大学	受検者 4名
至学館大学短期大学部	受検者 5名
トライデントスポーツ医療看護専門学校	受検者 4名
大阪社会体育専門学校	受検者 1名
東亜大学	受検者 4名

■認定校の公認エアロビックス指導員専門科目（検定試験）

盛岡大学短期大学部	受検者 11名
作新学院大学	受検者 10名
園田学園女子大学	受検者 29名

(2) 「JAF National Camp 2013」の開催

- ・指導者養成に関する各種講習会・研修会を集中的に行う「JAF National Camp 2013」を開催した。

【期 間】	2月9日(土)～17日(日)	
【会 場】	国立オリンピック記念青少年総合センター	
【内 容】	公認エアロビックス上級コーチ新規養成講習会	受講者 12名
	TA 新規養成講習会	受講者 25名
	指導専門委員中央研修会	受講者 56名
	TA 中央研修会(プログラム A)	受講者 43名
	TA 中央研修会(プログラム B)	受講者 47名
	TA 中央研修会(プログラム C)	受講者 31名
	審判員中央研修会(A B級)	受講者 47名
	審判員中央研修会(C級)	受講者 93名
	技能検定員中央研修会(A)	受講者 23名
	技能検定員中央研修会(B)	受講者 17名
	ジュニア技能検定員中央研修会	受講者 10名
	JAF エアロビックスセミナー(プログラム A)	受講者 8名
	JAF エアロビックスセミナー(プログラム B)	受講者 13名
	JAF エアロビックスセミナー(プログラム C)	受講者 29名
	エアロビックス技能検定会	受検者名
	JAF SUPER CAMP ミニ B	受講者 8名
	JAF SUPER CAMP ミニ C	受講者 5名
	JAF SUPER CAMP フライト A	受講者 69名
	JAF SUPER CAMP フライト B	受講者 77名
	JAF SUPER CAMP フライトミニ C	受講者 25名
	JAF SUPER CAMP 競技ルーティン A	受講者 16名

	JAF SUPER CAMP 競技ルーティン B	受講者 33 名
	JAF SUPER CAMP 競技ルーティンミニ C	受講者 14 名
	ルール説明会 A	受講者 20 名
	ルール説明会 B	受講者 13 名
	ルール説明会 C	受講者 26 名

(3) 県連盟による「C級審判員養成講習会」の開催

群馬会場	8 月 18 日～19 日	S K J	受講者 4 名
------	---------------	-------	---------

(4) 県連盟による「C級審判員資格更新研修会」の開催

福島会場	7 月 8 日	福島県エアロビック連盟	受講者 8 名
北海道会場	3 月 10 日	北海道エアロビック連盟	受講者 3 名
大阪会場	3 月 30 日	大阪府エアロビック連盟	受講者 20 名
熊本会場	3 月 31 日	熊本県エアロビック連盟	受講者 12 名

(5) 「キッズ・ジュニアエアロビック指導員養成講習会」の開催

東京会場	6 月 16 日～17 日	有明スポーツセンター	受講者 8 名
岩手会場	通年	修紅短期大学	受講者 51 名
山梨会場	8 月 4 日～5 日	山梨学院短期大学	受講生 21 名
東京会場	2 月 13 日～14 日	日本工学院八王子専門学校	受講生 46 名

(6) 「アクアエアロビック指導員(Ⅱ種)養成講習会」の開催

兵庫会場	通年	園田学園女子大学	受講者 46 名
------	----	----------	----------

3. 指導者資格更新に関するセミナーの推進

(1) 「JAF エアロビックセミナー」の開催

- ・ JAF 認定ならびに公認指導者の資格更新を兼ねて JAF エアロビックセミナーを開催した。

東京会場	6 月 17 日(日)	有明スポーツセンター	受講生 32 名
群馬会場※	8 月 22 日(日)	ぐんま武道館	受講生 28 名
東京会場	8 月 25 日(土)	有明スポーツセンター	受講生 36 名
神奈川会場※	10 月 28 日(日)	神奈川県立スポーツ会館	受講生 20 名
熊本会場※	11 月 11 日(日)	益城町総合体育館	受講生 10 名
千葉会場※	11 月 25 日(日)	千葉ポートアリーナ	受講生 3 名
北海道会場※	3 月 3 日(日)	札幌市中島体育センター	受講生 10 名

※は道県連盟が主管して実施

IV. 競技力向上に関する事業の推進

1. 「スーパーキャンプ」の開催

- ・ 競技力の底辺拡大と強化を目的とした競技エアロビックの「スーパーキャンプ」を全国 6 地区 7 会場で開催した。

東京会場	10 月 6 日 (土) フライトコース	松江区民プラザ	参加者 46 名
大阪会場	10 月 14 日(土) フライトコース	大阪社会体育専門学校	参加者 56 名
静岡会場	12 月 8 日(土) フライトコース	静岡県長田体育館	参加者 52 名

名古屋会場	3月3日(土)フライトコース	名古屋市 天白スポーツセンター	参加者 56 名
福岡会場	3月23日(土)フライトコース	福岡市博多体育館	参加者 47 名
福岡会場	3月24日(日)ユース競技	アクション福岡	参加者 21 名
仙台会場	3月24日(土)フライトコース	仙台市若林体育館	参加者 80 名

2. 「FIG 大陸間国際審判員養成講習会」等への派遣

(1) FIG 大陸間国際審判員養成講習会

【期 間】	12月2日～6日(6日間)
【場 所】	チェコ・プラハ
【参加者】	2名

(2) FIG 国際審判員養成講習会

【期 間】	3月15日～18日(4日間)
【場 所】	オーストラリア・キャンペラ
【参加者】	9名

3. エアロビック競技・採点規則の改訂

- ・国際ルール「FIG C.O.P. 2013-2016」の改訂に基き、審判委員会を中心に国内ルールの改訂をすすめる「エアロビック公式競技・採点規則 2013-2016」として発表した。
- ・また、普及を目的としたチャレンジ競技、エンジョイ競技ルールの整備をあわせてすすめた。

V. 関連団体、専門委員会との協調と連携

1. 競技エアロビックに関する研究活動等

(1) 競技力向上に関する研究等

- ・ルーマニアからコーチを招聘し、競技力向上の為に強化合宿を行うとともに、強化トレーニング法の研究をすすめた。

(2) 競技エアロビック普及を目的とした競技体系の研究

- ・競技力向上と底辺拡大を目的に競技内容や種目の整理を行い、新競技体系(公式競技、チャレンジ競技、エンジョイ競技)としてまとめた。

2. 生涯エアロビックに関する研究活動等

(1) 「スローエアロビック」普及の研究と活動

- ・袋井エアロビック協議会と協力して、スローエアロビック音楽の研究と制作をすすめた。
- ・第5回全国ビデオコンクールにスローエアロビック部門を設け、普及啓発を諮った。
- ・神奈川県連と協力して、高齢者の交通安全プログラムとして開発した「トラビック」をスローエアロビックプログラムの一つとして普及啓発を諮った。

(2) 指導者養成講習カリキュラムの見直しと改訂

- ・キッズジュニア及び公認講習会カリキュラムの研究と見直しを行った。

(3) 中学校体育のダンス授業研究と教員向け講習支援

- ・チームダンスエアロビックの指導研究と、群馬県連盟が開催した教員向け講習会の支援を行った。

(4) スマイルレポート 2013 の編集と制作

- ・指導専門委員の年間活動と研究成果をまとめた「スマイルレポート 2013」の編集と制作を行った。

3. 四国エアロビック協議会の設立支援

- ・四国地区の普及と県連設立を目的に、「四国エアロビック協議会(仮称)」設立の支援をすすめた。

4. アダプテッドエアロビックに関する活動支援

- ・神奈川県エアロビック連盟と障害者のエアロビック普及を目的とした「全国アダプテッドエアロビック協議会」設立準備の支援をすすめた。

5. エアロビックフィットネス協議会(AFC)との連携

- ・日本フィットネス協会とアフエージャパン2団体に大幅な組織変更があったため、機関紙「AFC PRESS」を休刊とした。
- ・平成25年2月～3月の期間、第5回全国指導者アンケート調査を実施した。(公表は25年7月予定)

6. 地域ブロック会議の開催

- ・県連活動および広域地域の活性化を目的に、下記の地域ブロック会議を開催した。
(北海道、東北地区、関東地区、西日本地区(2回)、九州地区の6回開催)

7. 和歌山国体デモンストレーションの開催準備

- ・27年度(2015年)開催の和歌山国体に向けて、和歌山県の地域組織づくりとデモンストレーション開催の準備をすすめた。

VI. 広報活動の推進

1. PR活動と報道結果

- ・スズキワールドカップ、スズキジャパンカップを中心にPR活動を行い、下記の報道、露出等があった。(JAF調べ)

(1) スズキワールドカップ2012 関連報道結果

- ・新聞・Web掲載件数 83件
- ・テレビ、ラジオ 23件
- ・番組放送 2回(NHKBS1:4/28、5/5)

(2) スズキジャパンカップ2012 関連報道結果

- ・新聞・Web掲載件数 455件
- ・テレビ、ラジオ放送件数 4件
- ・番組放送 3回(NHKBS1:12/30、1/6、4/20) ※4/20は25年度実績

2. 広報誌『スマイル』の発行

- ・1998年7月にエアロビック普及を目的に広報誌として創刊。本年も下記の4回発行した。

56号(春)	4月1日発行	各5,000部発行
57号(夏)	7月1日発行	
58号(秋)	10月1日発行	
59号(冬)	1月1日発行	

VII. その他法人の目的を達成するために必要な事業

1. 新公益法人の移行手続き

- ・平成24年度当初から移行に関する手続きを開始し、平成25年4月1日から公益社団法人に移行した。

8月1日	申請手続
------	------

10月25日	公益認定の答申
3月21日	公益認定書の交付
4月1日	公益社団法人登記

2. JAF 表彰の授賞式の開催

- ・25年度のJAF表彰は該当者がなかったために、授賞式を実施しなかった。

3. 都道府県連盟の設立及び加盟状況

- ・25年度、都道府県連盟の組織状況は次の通りとなった。

正加盟	31 都道府県	(会費未納1件)
準加盟	1 県	鳥取
設立準備委員会	8 府県	新潟、京都、奈良、和歌山、愛媛、大分、 鹿児島、沖縄
改組	2 県	山口、宮崎
未組織	5 県	秋田、徳島、高知、島根、佐賀

4. 都道府県体育協会の加盟状況

正加盟	8 府県	山形、茨城、神奈川、山梨、愛知、大阪 岡山、鳥取
準加盟	2 県	群馬、福井、
※25年度予定	2 県	静岡、香川
※レク協等加盟	3 県	福島、富山、宮崎

5. 賛助会員（法人・個人・クラブ）の推進

- ・25年度、賛助会員数の状況は次の通りとなった。

法人賛助会員	69 口	企業団体 16 口 認定校 10 校 競技登録クラブ 43 クラブ
個人賛助会員	1,972 人	25年3月現在

6. 選手登録の推進

- ・25年度、選手登録の状況は次の通りとなった。

選手登録数	2,200 人	25年3月現在
-------	---------	---------

以上

Ⅱ. 決算報告

貸借対照表
平成 25年 3月 31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	64,922,952	65,491,652	△ 568,700
受取手形	966,000	525,000	441,000
売掛金	121,800	546,000	△ 424,200
未収入金	5,081,482	1,168,440	3,913,042
商品	1,360,384	1,589,970	△ 229,586
貯蔵品	1,471,633	1,704,765	△ 233,132
前払費用	2,756,739	2,645,083	111,656
立替金	-	66,585	△ 66,585
流動資産合計	76,680,990	73,737,495	2,943,495
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	20,000,000	20,000,000	-
基本財産合計	20,000,000	20,000,000	-
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	8,517,338	6,716,017	1,801,321
大会運営積立資産	123,019,895	123,022,785	△ 2,890
特定資産合計	131,537,233	129,738,802	1,798,431
(3) その他固定資産			
建物附属設備	2	2	-
什器備品	318,804	1,397,561	△ 1,078,757
電話加入権	291,200	291,200	-
ソフトウェア	1,710,002	1,409,168	300,834
ソフトウェア仮勘定	5,107,500	3,000,000	2,107,500
保証金	2,864,420	2,667,600	196,820
その他固定資産合計	10,291,928	8,765,531	1,526,397
固定資産合計	161,829,161	158,504,333	3,324,828
資産合計	238,510,151	232,241,828	6,268,323
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	7,095,443	8,288,530	△ 1,193,087
未払費用	3,566,246	3,924,306	△ 358,060
前受金	3,155,500	2,718,000	437,500
預り金	2,764,696	1,849,450	915,246
未払法人税等	1,220,000	1,000,000	220,000
未払消費税等	1,361,800	1,181,600	180,200
流動負債合計	19,163,685	18,961,886	201,799
2. 固定負債			
退職給付引当金	10,008,739	7,599,798	2,408,941
固定負債合計	10,008,739	7,599,798	2,408,941
負債合計	29,172,424	26,561,684	2,610,740
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	20,000,000	20,000,000	-
指定正味財産合計	20,000,000	20,000,000	-
(うち基本財産への充当額)	(20,000,000)	(20,000,000)	(-)
2. 一般正味財産	189,337,727	185,680,144	3,657,583
(うち特定資産への充当額)	(123,019,895)	(123,022,785)	(△2,890)
正味財産合計	209,337,727	205,680,144	3,657,583
負債及び正味財産合計	238,510,151	232,241,828	6,268,323

貸借対照表内訳表

平成 25年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	22,154,197	6,808,474	35,960,281	-	64,922,952
受取手形	966,000	-	-	-	966,000
売掛金	-	121,800	-	-	121,800
未収入金	5,081,482	573,249	5,678,338	△ 6,251,587	5,081,482
商品	-	1,360,384	-	-	1,360,384
貯蔵品	1,339,968	-	131,665	-	1,471,633
前払費用	1,622,870	-	1,133,869	-	2,756,739
短期貸付金	-	-	2,529,640	△ 2,529,640	-
流動資産合計	31,164,517	8,863,907	45,433,793	△ 8,781,227	76,680,990
2. 固定資産					
(1) 基本財産					
定期預金	-	-	20,000,000	-	20,000,000
基本財産合計	-	-	20,000,000	-	20,000,000
(2) 特定資産					
退職給付引当資産	-	-	8,517,338	-	8,517,338
大会運営積立資産	123,019,895	-	-	-	123,019,895
特定資産合計	123,019,895	-	8,517,338	-	131,537,233
(3) その他固定資産					
建物附属設備	-	-	2	-	2
什器備品	278,011	-	40,793	-	318,804
電話加入権	-	-	291,200	-	291,200
ソフトウェア	1,710,002	-	-	-	1,710,002
ソフトウェア仮勘定	-	-	5,107,500	-	5,107,500
保証金	196,820	-	2,667,600	-	2,864,420
その他固定資産合計	2,184,833	-	8,107,095	-	10,291,928
固定資産合計	125,204,728	-	36,624,433	-	161,829,161
資産合計	156,369,245	8,863,907	82,058,226	△ 8,781,227	238,510,151
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	12,478,368	664,908	203,754	△ 6,251,587	7,095,443
未払費用	873,293	-	2,692,953	-	3,566,246
前受金	2,255,500	-	900,000	-	3,155,500
預り金	845,506	-	1,919,190	-	2,764,696
短期借入金	2,431,257	98,383	-	△ 2,529,640	-
未払法人税等	1,220,000	-	-	-	1,220,000
未払消費税等	1,329,117	32,683	-	-	1,361,800
流動負債合計	21,433,041	795,974	5,715,897	△ 8,781,227	19,163,685
2. 固定負債					
退職給付引当金	8,729,712	91,911	1,187,116	-	10,008,739
固定負債合計	8,729,712	91,911	1,187,116	-	10,008,739
負債合計	30,162,753	887,885	6,903,013	△ 8,781,227	29,172,424
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産					
寄付金	-	-	20,000,000	-	20,000,000
指定正味財産合計	-	-	20,000,000	-	20,000,000
(うち基本財産への充当額)	(-)	(-)	(20,000,000)	(-)	(20,000,000)
2 一般正味財産	126,206,492	7,976,022	55,155,213	-	189,337,727
(うち特定資産への充当額)	(123,019,895)	(-)	(-)	(-)	(123,019,895)
正味財産合計	126,206,492	7,976,022	75,155,213	-	209,337,727
負債及び正味財産合計	156,369,245	8,863,907	82,058,226	△ 8,781,227	238,510,151

正味財産増減計算書

平成 24年 4月 1日から平成 25年 3月 31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	6,016	8,000	△ 1,984
特定資産運用益			
特定資産受取利息	68,299	44,428	23,871
受取会費			
正会員受取会費	3,050,000	3,600,000	△ 550,000
賛助会員受取会費	12,628,600	11,694,700	933,900
事業収益			
競技会事業収益	137,863,136	149,327,778	△ 11,464,642
認定登録事業収益	10,002,738	9,169,919	832,819
講習会等事業収益	27,616,066	46,195,818	△ 18,579,752
商品売上事業収益	3,707,808	3,595,378	112,430
受取補助金等			
受取民間助成金	3,446,232	3,631,469	△ 185,237
雑収益			
受取利息	23,115	29,613	△ 6,498
雑収益	1,914,201	1,048,803	865,398
経常収益計	200,326,211	228,345,906	△ 28,019,695
(2) 経常費用			
事業費			
期首商品棚卸高	1,589,970	884,384	705,586
商品仕入高	1,201,773	1,857,811	△ 656,038
期末商品棚卸高	△ 1,548,931	△ 1,613,592	64,661
給料手当	59,055,243	56,927,210	2,128,033
退職給付費用	2,916,857	2,142,937	773,920
法定福利費	9,589,130	7,879,394	1,709,736
福利厚生費	114,384	119,034	△ 4,650
臨時雇賃金	2,406,826	12,840,152	△ 10,433,326
諸謝金	7,465,025	-	7,465,025
外注費	54,228,291	64,098,810	△ 9,870,519
表彰費	2,470,000	2,020,000	450,000
接待交際費	667,104	945,168	△ 278,064
会議費	108,287	194,975	△ 86,688
旅費交通費	11,423,018	13,467,806	△ 2,044,788
出張手当	2,919,015	3,235,811	△ 316,796
通信運搬費	2,651,544	2,971,514	△ 319,970
減価償却費	1,723,241	4,369,961	△ 2,646,720
消耗品費	3,732,825	6,021,977	△ 2,289,152
修繕費	12,989	-	12,989
賃借料	7,525,942	9,086,339	△ 1,560,397
事務所賃借料	6,472,918	6,525,556	△ 52,638
保険料	507,933	528,386	△ 20,453
租税公課	605,725	635,775	△ 30,050
支払寄付金	607	97,300	△ 96,693
委託費	1,764,520	-	1,764,520
支払手数料	1,411,586	-	1,411,586
雑費	70,305	8,829,322	△ 8,759,017
事業費計	181,086,127	204,066,030	△ 22,979,903

正味財産増減計算書

平成 24年 4月 1日から平成 25年 3月 31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
管理費			
給料手当	5,981,887	5,644,064	337,823
退職給付費用	320,084	214,058	106,026
法定福利費	971,586	769,777	201,809
福利厚生費	44,217	84,630	△ 40,413
接待交際費	408,562	236,258	172,304
会議費	55,493	50,050	5,443
旅費交通費	908,116	766,643	141,473
出張手当	291,695	78,501	213,194
通信運搬費	538,421	528,069	10,352
減価償却費	4,682	72,972	△ 68,290
消耗品費	473,234	508,957	△ 35,723
修繕費	1,316	-	1,316
賃借料	166,424	180,999	△ 14,575
事務所賃借料	655,838	637,514	18,324
保険料	31,253	48,908	△ 17,655
租税公課	40,600	73,600	△ 33,000
諸会費	550,717	-	550,717
支払寄付金	10,000	-	10,000
委託費	2,169,260	-	2,169,260
支払手数料	406,499	-	406,499
雑費	105,314	3,632,623	△ 3,527,309
管理費計	14,135,198	13,527,623	607,575
経常費用計	195,221,325	217,593,653	△ 22,372,328
評価損益等調整前当期経常増減額	5,104,886	10,752,253	△ 5,647,367
当期経常増減額	5,104,886	10,752,253	△ 5,647,367
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	-	-	-
(2) 経常外費用			
固定資産減耗損			
棚卸商品減耗損	376,803	99,842	276,961
経常外費用計	376,803	99,842	276,961
当期経常外増減額	△ 376,803	△ 99,842	△ 276,961
税引前当期一般正味財産増減額	4,728,083	10,652,411	△ 5,924,328
法人税等	1,070,500	1,000,000	70,500
当期一般正味財産増減額	3,657,583	9,652,411	△ 5,994,828
一般正味財産期首残高	185,680,144	176,027,733	9,652,411
一般正味財産期末残高	189,337,727	185,680,144	3,657,583
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	-	-	-
指定正味財産期首残高	20,000,000	20,000,000	-
指定正味財産期末残高	20,000,000	20,000,000	-
III 正味財産期末残高	209,337,727	205,680,144	3,657,583

正味財産増減計算書内訳表
平成24年 4月 1日から平成25年 3月 31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計				法人会計	内部取引消去	合計
	普及・振興事業	小計	物販事業	協議会事業	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益									
基本財産受取利息	-	-	-	-	-	-	6,016	-	6,016
特定資産運用益									
特定資産受取利息	66,678	66,678	-	-	-	-	1,621	-	68,299
受取会費									
正会員受取会費	610,000	610,000	-	-	-	-	2,440,000	-	3,050,000
賛助会員受取会費	1,262,860	1,262,860	-	-	-	-	11,365,740	-	12,628,600
事業収益									
競技会事業収益	137,863,136	137,863,136	-	-	-	-	-	-	137,863,136
認定登録事業収益	10,002,738	10,002,738	-	-	-	-	-	-	10,002,738
講習会等事業収益	27,616,066	27,616,066	-	-	-	-	-	-	27,616,066
商品売上事業収益	-	-	3,707,808	-	-	3,707,808	-	-	3,707,808
受取補助金等									
受取民間助成金	3,446,232	3,446,232	-	-	-	-	-	-	3,446,232
雑収益									
受取利息	6,380	6,380	-	-	1,245	1,245	15,490	-	23,115
雑収益	1,912,350	1,912,350	1,851	-	-	1,851	-	-	1,914,201
経常収益計	182,786,440	182,786,440	3,709,659	-	1,245	3,710,904	13,828,867	-	200,326,211

正味財産増減計算書内訳表

平成24年 4月 1日から平成25年 3月 31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計				法人会計	内部取引消去	合計
	普及・振興事業	小計	物販事業	協議会事業	共通	小計			
(2) 経常費用									
事業費									
期首商品棚卸高	-	-	1,589,970	-	-	1,589,970	-	-	1,589,970
商品仕入高	-	-	1,201,773	-	-	1,201,773	-	-	1,201,773
期末商品棚卸高	-	-	△ 1,548,931	-	-	△ 1,548,931	-	-	△ 1,548,931
給料手当	58,180,905	58,180,905	811,249	63,089	-	874,338	-	-	59,055,243
退職給付費用	2,903,857	2,903,857	7,000	6,000	-	13,000	-	-	2,916,857
法定福利費	9,451,840	9,451,840	125,483	11,807	-	137,290	-	-	9,589,130
福利厚生費	112,745	112,745	1,500	139	-	1,639	-	-	114,384
随時雇賃金	2,406,826	2,406,826	-	-	-	-	-	-	2,406,826
諸謝金	7,323,120	7,323,120	141,905	-	-	141,905	-	-	7,465,025
外注費	54,228,291	54,228,291	-	-	-	-	-	-	54,228,291
表彰費	2,470,000	2,470,000	-	-	-	-	-	-	2,470,000
接待交際費	667,104	667,104	-	-	-	-	-	-	667,104
会議費	108,287	108,287	-	-	-	-	-	-	108,287
旅費交通費	11,388,558	11,388,558	31,497	2,963	-	34,460	-	-	11,423,018
出張手当	2,919,015	2,919,015	-	-	-	-	-	-	2,919,015
通信運搬費	2,619,324	2,619,324	31,180	1,040	-	32,220	-	-	2,651,544
減価償却費	1,722,581	1,722,581	600	60	-	660	-	-	1,723,241
消耗品費	3,725,825	3,725,825	6,540	460	-	7,000	-	-	3,732,825
修繕費	12,803	12,803	170	16	-	186	-	-	12,989
賃借料	7,520,654	7,520,654	4,835	453	-	5,288	-	-	7,525,942
事務所賃借料	6,380,247	6,380,247	84,703	7,968	-	92,671	-	-	6,472,918
保険料	507,138	507,138	726	69	-	795	-	-	507,933
租税公課	591,649	591,649	14,076	-	-	14,076	-	-	605,725
支払寄付金	607	607	-	-	-	-	-	-	607
委託費	1,746,255	1,746,255	16,692	1,573	-	18,265	-	-	1,764,520
支払手数料	1,405,183	1,405,183	6,344	59	-	6,403	-	-	1,411,586
雑費	70,305	70,305	-	-	-	-	-	-	70,305
事業費計	178,463,119	178,463,119	2,527,312	95,696	-	2,623,008	-	-	181,086,127

正味財産増減計算書内訳表
平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計				法人会計	内部取引消去	合計
	普及・振興事業	小計	物販事業	協議会事業	共通	小計			
管理費									
給料手当	-	-	-	-	-	-	5,981,887	-	5,981,887
退職給付費用	-	-	-	-	-	-	320,084	-	320,084
法定福利費	-	-	-	-	-	-	971,586	-	971,586
福利厚生費	-	-	-	-	-	-	44,217	-	44,217
接待交際費	-	-	-	-	-	-	408,562	-	408,562
会議費	-	-	-	-	-	-	55,493	-	55,493
旅費交通費	-	-	-	-	-	-	908,116	-	908,116
出張手当	-	-	-	-	-	-	291,695	-	291,695
通信運搬費	-	-	-	-	-	-	538,421	-	538,421
減価償却費	-	-	-	-	-	-	4,682	-	4,682
消耗品費	-	-	-	-	-	-	473,234	-	473,234
修繕費	-	-	-	-	-	-	1,316	-	1,316
賃借料	-	-	-	-	-	-	166,424	-	166,424
事務所賃借料	-	-	-	-	-	-	655,838	-	655,838
保険料	-	-	-	-	-	-	31,253	-	31,253
租税公課	-	-	-	-	-	-	40,600	-	40,600
諸会費	-	-	-	-	-	-	550,717	-	550,717
支払寄付金	-	-	-	-	-	-	10,000	-	10,000
委託費	-	-	-	-	-	-	2,169,260	-	2,169,260
支払手数料	-	-	-	-	-	-	406,499	-	406,499
雑費	-	-	-	-	-	-	105,314	-	105,314
管理費計	-	-	-	-	-	-	14,135,198	-	14,135,198
経常費用計	178,463,119	178,463,119	2,527,312	95,696	-	2,623,008	14,135,198	-	195,221,325
評価損益等調整前当期経常増減額	4,323,321	4,323,321	1,182,347	△ 95,696	1,245	1,087,896	△ 306,331	-	5,104,886
当期経常増減額	4,323,321	4,323,321	1,182,347	△ 95,696	1,245	1,087,896	△ 306,331	-	5,104,886

正味財産増減計算書内訳表
平成24年 4月 1日から平成25年 3月 31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計				法人会計	内部取引消去	合計
	普及・振興事業	小計	物販事業	協議会事業	共通	小計			
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
経常外収益計	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(2) 経常外費用									
固定資産減耗損									
棚卸商品減耗損	93,588	93,588	188,547	-	-	188,547	94,668	-	376,803
経常外費用計	93,588	93,588	188,547	-	-	188,547	94,668	-	376,803
当期経常外増減額	△ 93,588	△ 93,588	△ 188,547	-	-	△ 188,547	△ 94,668	-	△ 376,803
他会計振替額	-	-	-	-	-	-	-	-	-
税引前当期一般正味財産増減額	4,229,733	4,229,733	993,800	△ 95,696	1,245	899,349	△ 400,999	-	4,728,083
法人税等	1,070,500	1,070,500	-	-	-	-	-	-	1,070,500
当期一般正味財産増減額	3,159,233	3,159,233	993,800	△ 95,696	1,245	899,349	△ 400,999	-	3,657,583
一般正味財産期首残高	123,047,259	123,047,259	7,076,673	-	-	7,076,673	55,556,212	-	185,680,144
一般正味財産期末残高	126,206,492	126,206,492	8,070,473	△ 95,696	1,245	7,976,022	55,155,213	-	189,337,727
II 指定正味財産増減の部									
当期指定正味財産増減額	-	-	-	-	-	-	-	-	-
指定正味財産期首残高	-	-	-	-	-	-	20,000,000	-	20,000,000
指定正味財産期末残高	-	-	-	-	-	-	20,000,000	-	20,000,000
III 正味財産期末残高	126,206,492	126,206,492	8,070,473	△ 95,696	1,245	7,976,022	75,155,213	-	209,337,727

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

①満期保有目的の債券・・・償却原価法(定額法)によっている。

②その他の有価証券

・時価のあるもの・・・期末日の市場価格等に基づく時価法(売却原価は移動平均法により算定)によっている。

・時価のないもの・・・移動平均法による原価法によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

先入先出法に基づく原価法

(3) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産・・・定率法

無形固定資産・・・定額法

(4) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・職員の退職給付に備えるため、退職金規定に基づく期末要支給額を計上している。

(5) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(6) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっている。

2. 会計方針の変更

法人税法の改正に伴い、当会計年度より、平成24年4月1日以後に、取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更している。

なお、これによる当会計年度の損益への影響はありません。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	20,000,000	-	-	20,000,000
小 計	20,000,000	-	-	20,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	6,716,017	1,801,321	-	8,517,338
大会運営積立資産	123,022,785	68,069,186	68,072,076	123,019,895
小 計	129,738,802	69,870,507	68,072,076	131,537,233
合 計	149,738,802	69,870,507	68,072,076	151,537,233

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する金額)
基本財産				
定期預金	20,000,000	(20,000,000)	(-)	(-)
小 計	20,000,000	(20,000,000)	(-)	(-)
特定資産				
退職給付引当資産	8,517,338	(-)	(-)	(8,517,338)
大会運営積立資産	123,019,895	(-)	(123,019,895)	(-)
小 計	131,537,233	(-)	(123,019,895)	(8,517,338)
合 計	151,537,233	(20,000,000)	(123,019,895)	(8,517,338)

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	448,532	448,530	2
什器備品	15,742,800	15,423,996	318,804
ソフトウェア	6,858,600	5,148,598	1,710,002
合 計	23,049,932	21,021,124	2,028,808

6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
国債			
第305回利付国債	20,004,284	20,005,400	1,116
第314回利付国債	30,015,611	30,012,600	-3,011
合 計	50,019,895	50,018,000	-1,895

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上 の記載区分
助成金						
スポーツ振興基金 助成金	独立行政法人 日本スポーツ振興センター	-	2,119,000	2,119,000	-	-
スポーツ学等研究 助成金	公益財団法人 ミスノスポーツ振興財団	-	1,000,000	1,000,000	-	-
委託金						
公認スポーツ指導者 講師競技別全国 研修会委託金	公益財団法人 日本体育協会	-	327,232	327,232	-	-
合 計		-	3,446,232	3,446,232	-	-

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表の注記において記載している。

2. 引当金の明細

引当金の当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	7,599,798	2,408,941	-	-	10,008,739

財 産 目 録
平成 25年 3月 31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
現金預金	現金手許有高	普通預金	運転資金として	436,973
		みずほ銀行祐天寺支店	同上	63,743,825
		三菱東京UFJ銀行大井支店	同上	265,939
		ゆうちょ銀行品川支店	同上	476,215
		(現金預金計)		
	受取手形	(株)ウェザーコーポレーション	公益目的事業協賛金として	966,000
		指導教本他	収益事業・物販売掛金として	121,800
		(公財)日本体育協会	公益目的事業・資格登録料の未収分として	2,253,982
		(独行)日本スポーツ振興センター	公益目的事業・助成金未収分として	2,119,000
		(株)ウェザーコーポレーション	公益目的事業・協賛金他未収分として	708,500
	(未収金計)			5,081,482
	商品	採点規則2013-2016@978.50*325枚	収益事業・販売用商品として	318,013
		新エアロビック技能検定ガイド@737.10*161枚	同上	118,673
		指導教本@1,195.95*49冊	同上	58,602
		指導教本@814.80*300冊	同上	244,440
		Jr技術教程DVD@553.35*164枚	同上	90,749
		Jr技術教程ガイド@460.25*167冊	同上	76,862
		キッズJr指導ガイド@644*7冊	同上	4,508
		キッズJr指導ガイド@399*500冊	同上	199,500
		キッズJr指導DVD@300*35枚	同上	10,500
		キッズJr指導DVD@294*300枚	同上	88,200
		スポーツエアロビック規程曲集@770*65枚	同上	50,050
		コーチ教本@1,607.30*27冊	同上	43,397
		JAFエンブレム@3,500*8枚	同上	28,000
		技能検定会CD@2,205*6枚	同上	13,230
		スキルアップDVD@1,076*10枚	同上	10,760
		メタリック対策DVD@2,450*2枚	同上	4,900
(商品計)			1,360,384	
貯蔵品	技能検定会バッチ他	公益目的事業・技能検定会認定登録バッチとして	1,471,633	
前払費用	大田区総合体育館他	公益目的事業・大会会場費他前払分として	2,756,739	
流動資産合計				76,680,990
(固定資産)				
基本財産	定期預金	三菱東京UFJ銀行大井支店	運営管理目的保有財産であり、運用益を法人会計・運営管理業務の財源に充当	20,000,000
	特定資産	退職給付引当資産	役員退職給付用財産であり、運用益を法人会計・運営管理業務の財源に充当	8,517,338
定期積金		みずほ銀行祐天寺支店		7,317,338
定期預金		三菱東京UFJ銀行大井支店		1,200,000
大会運営積立資産		公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業会計の運営管理業務の財源に充当	123,019,895	
	定期預金	みずほ銀行祐天寺支店		35,000,000
		三菱東京UFJ銀行大井支店		38,000,000
	投資有価証券			
	第305回利付国債			20,004,284
	第314回利付国債			30,015,611
			(特定資産計)	131,537,233

財 産 目 録
平成 25年 3月 31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
その他 固定資産	建物付属設備	日本エアロビック連盟内 可動間仕切り	運営管理目的の財源として保有する財産	2
	什器備品	日本エアロビック連盟内他 エアロビックフロア他	うち公益目的保有財産87.2%	318,804
			うち運営管理目的の財産として保有する財産 12.8%	278,011
				40,793
	電話加入権	日本エアロビック連盟内 事務局電話機加入権5回線分	運営管理目的の財源として保有する財産	291,200
	ソフトウェア	日本エアロビック連盟内 集計システム他	公益目的保有財産	1,710,002
	ソフトウェア仮勘定	日本エアロビック連盟内	公益目的・運営管理目的の財源として保有する財産	5,107,500
	保証金	市川庄次(事務所保証金)他	運営管理目的の財源として保有する財産 (その他固定資産計)	2,864,420 10,291,928
固定資産合計				161,829,161
資産合計				238,510,151
(流動負債)	未払金	㈱協同宣伝他 日本印刷㈱他 山口北州印刷㈱他	公益目的事業に関する未払分として	6,359,549
			収益事業に関する未払分として	532,140
			運営管理業務に関する未払分として (未払金計)	203,754 7,095,443
	未払費用	講師他 品川年金事務所他	公益目的事業に関する未払分として	873,293
			運営管理業務に関する未払分として (未払費用計)	2,692,953 3,566,246
	前受金	㈱おとやトレーディング他	公益目的事業・協賛金他前受分として	3,155,500
	預り金	品川年金事務所他 品川税務署	社会保険料他預り分として	2,452,750
			源泉徴収税預り分として (預り金計)	311,946 2,764,696
	未払法人税等	東京国税局他	未払法人税として	1,220,000
	未払消費税	品川税務署	未払消費税として	1,361,800
流動負債合計				19,163,685
(固定負債)	退職給付引当金	職員分	公益目的事業及び運営管理業務に従事する 役職員の退職給付金として	10,008,739
固定負債合計				10,008,739
負債合計				29,172,424
正味財産				209,337,727

Ⅲ. 監査報告書

監査報告書

公益社団法人 日本エアロビック連盟

会長 筒井 昭 殿

平成25年5月25日

公益社団法人 日本エアロビック連盟

監事 中村 邦 夫



公益社団法人 日本エアロビック連盟

監事 高山 昌 茂



私たちは、平成24年4月1日から平成25年3月31日までの会計年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決算書類を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について、検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算書類及び財産目録の監査結果

計算書類及び財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において、適正に示しているものと認めます。